

地域社保協結成到達(2022年7月現在)

	都道府県	地域社保協	準備会	友好団体
北海道	1	19	3	
青森	1	5		
岩手	1	2		
秋田	1	0	1	
宮城	1	4		
山形	1	3	1	
福島	1	0	1	
茨城	1	3	1	
栃木	1	1		
群馬	1	7	1	
埼玉	1	41		
千葉	1	15	2	
東京	1	45		
神奈川	1	27	1	
山梨	1	3	1	
長野	1	6		
新潟	1	4		7
富山	1	0		2
石川	1	7		
福井	1	3		
岐阜	1	10		
静岡	1	5		
愛知	1	10		
三重	1	8		
滋賀	1	2	1	2
京都	1	21	3	
大阪	1	52		
兵庫	1	15		
奈良	1	2		
和歌山	1	2		
鳥取	1	0		
島根	1	1		
岡山	1	6	2	
広島	1	3		
山口	1	3		
徳島	1	0		
香川	1	0		
愛媛	1	3		
高知	1	0		3
福岡	1	11		
佐賀	1	0		
長崎	1	1		
熊本	1	4	1	
大分	1	1		
宮崎	1	2		
鹿児島	1	2	1	
沖縄	1	8		
全国	47	367	20	14
総合計	434			

各県地域社保協一覧(2022年7月時点)

47都道府県 381地域社保協・友好組織 20準備会

県	数	準備	友好	地域社保協	備考欄(2022年7月時点)
北海道	19			函館社保協	
				旭川・上川社保協	
				十勝社保協	
				西胆振社保協	
				札幌東区社保協	
				札幌南区社保協	
				札幌豊平区社保協	
				札幌市社保協	
				苫小牧社保協	
				札幌白石区社保協	
				札幌西区社保協	
				釧路社保協	
				根室社保協	
				札幌北区社保協	
				札幌中央社保協	
				小樽社保協	
				南空知社保協	
				札幌厚別社保協	
				札幌手稲区社保協	
		3	北広島市		
			北後志		
			由仁町		
青森	5			東青社保協	
				中弘南黒社保協	
				三八社保協	
				西北五社保協	20200728再建
				上十三社保協	
岩手	2			一関社保協	
				盛岡地域社保協	再開の検討会立ち上げた
秋田	0	1		(秋田市(準)予定中)	
宮城	4			塩釜地域社保協	
				石巻地域社保協	
				大崎地区社保協	
				県南社保協	
山形	3			酒田飽海地域社保協	
				鶴岡地域社保協	
				山形社保協	
		1		(準)米沢社保協	
福島		1		(準)福島医療と福祉を良くする会	

県	数	準備	友好	地域社保協	備考欄(2022年7月時点)
茨城	3			水戸社保協	
				取手地域社保協	
				石岡地域社保協	
		1		(準)つくば社保協	
栃木	1			宇都宮市社保協	
群馬	7			前橋社保協	
				高崎社保協	
				渋川川広域圏社保協	
				太田・新田社保協	
				桐生社保協	
				利根沼田社保協	
				伊勢崎佐波社保協	
		1		(準)吾妻社保協	
埼玉	41			詳細別紙	
千葉	15	2		詳細別紙	
東京	45			詳細別紙	
神奈川	27	1		詳細別紙	
山梨	3			いのちと健康を守る峡西・峡南地域連絡会	
				甲府市社保協	2021.1より再建準備会開始。10月再建総会を予定
				峡東社保協	活動再開を目指す→未だ動きつくれず
		1		北杜市社保協	2021.11結成総会。
長野	6			上伊那社保協	
				諏訪地方社保協	
				松本地区社保協	
				飯伊地区社保協	
				佐久地区社保協	
				長野地区社保協	
新潟	4			新潟市社保協	
				長岡市社保協	
				新津地域社保協	
				新発田市社会福祉を考える会	
			7	「介護保険をよくする会(湯沢町、頸城村、上越市、六日町、柏崎市、三条市、寺泊町)」	
富山			2	礪波地方介護と福祉をよくする会	
				介護・福祉をよくする小矢部市民の会	
石川	7	0	0	南加賀社保協	役員会開催されず
				金沢社保協	活動中だが、理由があつて以前のような活発さはなくなった。
				はくい社保協	自治体キャラバンの時だけ活動する
				輪島社保協	自治体キャラバンの時だけ活動する
				白山・野々市町社保協(再建)	自治体キャラバンの時だけ活動する
				七尾・鹿島郡社保協	自治体キャラバンの時だけ活動する
				内灘町社保協	自治体キャラバンの時だけ活動する

県	数	準備	友好	地域社保協	備考欄(2022年7月時点)
福井	3			嶺南地域社保協	
				丹南社保協	
				福井市社保協	
岐阜	10			西濃地域社保協	
				岐阜市社保協	要望書提出懇談
				郡上市社保協	要望書提出懇談
				関市の社会保障をよくする会	要望書提出懇談
				高山市社保協	要望書提出懇談
				各務原社保協	要望書提出懇談、名称変更
				可児市社保協 2021. 11. 28結成	
				恵那市社保協	要望書提出懇談
				中津川市社保協 2021. 10. 10結成	要望書提出懇談
				美濃市社保協 2021. 12. 18結成	要望書提出懇談
静岡	5			静岡市医療と福祉をよくする会(社保協)	
				介護医療と社会保障を考える市民の会(浜松)	
				医療充実を求める藤枝市民の会	
				三島市社会保障をよくする会	
				掛川の医療と福祉をよくする会	
愛知	10			知多3市1町介護をよくする会	
				一宮社保協	
				日進市民参加の会	
				尾張旭の国保・介護をよくする会	
				年金者組合西尾支部	
				介護・医療の充実をめざす瀬戸の会	
				くらしと福祉・地方自治を守る犬山市民会議	
				海部津島社会保障推進協議会(準備会)	
				豊田・みよし地域社会保障推進協議会	
				年金者組合岡崎支部	
三重	8			暮らしと福祉を守る伊勢連絡会	
				紀北医療と福祉を良くする会	
				津社保協	
				四日市社保協	
				桑員社保協	
				松坂市社保協	
				鈴鹿市社保協	
亀山市社保協					
滋賀	2			草津・栗東社保協	
				大津市社保協	
				1 高島社保協	
				2 「大津市国保をよくする会」	
				「大津市介護をよくする会」	
京都	21	3		詳細別紙	

県	数	準備	友好	地域社保協	備考欄(2022年7月時点)
大阪	52			詳細別紙	
兵庫	15			尼崎社保協	
				社会保障をよくする宝塚の会	
				社会保障をよくする伊丹の会	
				中央区社保協	
				東灘社保協	
				灘区社保協	
				垂水社会保障をよくする会	
				神戸北社保協	
				兵庫区社保協	
				長田区社保協	
				須磨区社保協	
				西区社保協	
				(兵庫県社保協神戸市協議会)	
				加印社保協	
				明石社保協	
				西播社保協	
奈良	2			桜井社保協	
				奈良市社保協	
和歌山	2			和歌山市社保協	
				橋本・伊都社保協	
鳥取	0				
島根	1			松江市社保協	
岡山	6	2		倉敷市社保協	
				新見社保協	
				岡山市社保協	
				高梁地域社保協	
				美作地域社保協	
				備前市社保協	
				真庭市社保協結成準備会	7/13に第1回結成準備会
				総社市社保協結成準備会	7/28に第1回結成準備会
広島	3			福山市社保協	
				広島市安佐地域社保協	
				広島市社保協	
山口	3			山陽小野田市社保協	
				宇部市社保協	
				下関社保協	
徳島		0			
香川	0				
愛媛	3			新居浜市社保協	
				松山市社保協	
				内子町社保協	

県	数	準備	友好	地域社保協	備考欄(2022年7月時点)
高知	0		3	香美市「国保を考える会」	
				香南市「国保を考える会」	
				生活と健康を守る会宿毛市準備会	
福岡	11			福岡市社保協	
				北九州市社保協	
				宗像市社保協	
				直鞍社保協	
				田川地区社保協	
				大牟田市社保協	
				筑後地区社保協	
				福岡南区社保協	
				筑紫・朝倉地区社保協	追加
				京築社保協	
				福岡県保険医協会	
佐賀	0				
長崎	1			諫早地区社会保障をよくする会	
熊本	4			荒玉社保協	
				水俣社保協	
				八代社保協	
				菊池郡・市社保協	
		1		(準)天草社保協	
大分	1			大分市社保協	
宮崎	2			延岡社保協	
				都城・北諸地域社保協	
鹿児島	2			鹿児島市社保協 ➡ 解散して「市民の市政をつくる会」に合流	
				姪良地域社保協 ➡ 霧島市社保協(名称変更)	
		1		(準)南薩・川辺地域社保協 ➡ 活動実績なし	
沖縄	8			浦添社保協	
				那覇社保協	
				糸満社保協	
				宜野湾社保協	
				沖縄市社保協	
				うるま市社保協	
				豊見城市社保協	
				南風原町社保協	
全国	367	20	14		

	東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	大阪府	京都府
1	千代田社保協	1 横浜市社会保障推進協議会	1 社会保障推進市川市協議会	1 飯能市社会保障をよくする会	1 北区社保協	1 北区社会保障推進協議会
2	中央区社保協	2 鶴見区社会保障推進協議会	2 社会保障推進市原市協議会	2 秩父市社会保障推進協議会	2 住之江社保協	2 上京社会保障推進協議会
3	港社保協	3 戸塚・栄・泉区社会保障推進協議会	3 社会保障推進船橋市協議会	3 所沢市社会保障推進協議会	3 西淀川区社保協	3 中京社会保障推進協議会
4	新宿社保協	4 港北区社会保障推進協議会	4 社会保障推進流山市協議会	4 上尾市社会保障をよくする会	4 大正区社保協	4 左京区社会保障推進協議会
5	文京社保協	5 横浜西部社会保障推進協議会	5 社会保障推進鎌ヶ谷市協議会	5 三郷市社会保障推進協議会	5 中央区社保協	5 東山区社会保障推進協議会
6	台東社保協	6 横浜北部社会保障を考える会	6 社会保障推進松戸市協議会	6 川口市社会保障推進協議会	6 城東区社保協	6 山科社会保障推進協議会
7	墨田社保協	7 川崎市社会保障推進協議会	7 社会保障推進野田市協議会	7 入間市社会保障をよくする会	7 生野区社保協	7 下京社会保障推進協議会
8	江東社保協	8 川崎市社会保障推進協議会	8 社会保障推進柏市協議会	8 さいたま市社会保障推進協議会	8 此花区社保協	8 南区社会保障推進協議会
9	品川社保協	9 幸区社会保障推進協議会	9 社会保障推進千葉市協議会	9 さいたま市南区社保協	9 平野区社保協	9 右京社会保障推進協議会
10	目黒社保協	10 中原区社会保障推進協議会	10 社会保障推進習志野市協議会	10 さいたま市緑区社保協	10 住吉区社保協	10 西京社会保障推進協議会
11	大田社保協	11 高津区社会保障推進協議会	11 社会保障推進我孫子市協議会	11 さいたま市大宮区社保協	11 鶴見区社保協	11 伏見社会保障推進協議会
12	世田谷社保協	12 宮前区社会保障推進協議会準備会	12 大網白里地域の社会保障を良くする会	12 さいたま市見沼区社保協	12 東成区社保協	12 乙訓社会保障推進協議会
13	渋谷社保協	13 多摩区社会保障推進協議会	13 社会保障推進佐倉市協議会	13 さいたま市中央区社保協	13 旭区社保協	13 宇治・城陽・久御山社会保障推進協議会
14	中野社保協	14 麻生区社会保障推進協議会	14 社会保障推進白井市協議会	14 さいたま市桜区社保協	14 東淀川区社保協	14 亀岡社会保障推進協議会
15	杉並社保協	15 相模原市社会保障推進協議会	15 社会保障推進銚子市協議会	15 さいたま市浦和区社保協	15 天王寺社保協	15 船井社会保障推進協議会
16	豊島社保協	16 横須賀市社会保障推進協議会	(準)印西市社保協	16 さいたま市西区社保協	16 堺社保協	16 社会保障を進める綾部市民連絡会
17	北区社保協	17 三浦の医療と福祉を考える会	(準)八千代市社保協	17 さいたま市北区社保協	17 泉大津社保協	17 福天地域の医療・福祉を良くする会
18	荒川社保協	18 鎌倉市社会保障推進協議会		18 さいたま市岩槻社保協	18 高石社保協	18 舞鶴社会保障推進協議会
19	板橋社保協	19 藤沢市社会保障推進協議会		19 新座市社会保障推進協議会	19 貝塚社保協	19 宮津・与謝社会保障推進協議会
20	練馬社保協	20 茅ヶ崎市社会保障推進協議会		20 狭山市社会保障をよくする会	20 岸和田社保協	20 丹後社会保障推進協議会
21	足立社保協	21 寒川社会保障推進協議会		21 春日部社会保障をよくする会	21 泉南社保協	21 京田辺市社会保障推進協議会
22	葛飾社保協	22 平塚地域社会保障推進協議会		22 入間西部社会保障をよくする会	22 泉佐野社保協	▲ 八幡市社保協準備会*
23	江戸川社保協	23 西湘地域社会保障推進協議会		23 日高社会保障推進協議会	23 高槻社保協	▲ より良い介護保障を考える相楽の会*
24	八王子社保協	24 厚木地域社会保障推進協議会		24 朝霞社会保障をよくする会	24 茨木社保協	▲ 亀岡市介護を考える会*
25	立川社保協	25 逗子市社会保障推進協議会		25 社会保障をよくする蔵の会	25 豊中社保協	
26	武蔵野社保協	26 摩間市社会保障推進協議会		27 富士見市社会保障をよくする会	26 吹田社保協	
27	三鷹社保協	27 海老名市社会保障推進協議会		27 桶川市社会保障をよくする会	27 東大阪社保協	
28	府中社保協			28 久喜地域社会保障推進協議会	28 八尾社保協	
29	昭島社保協			29 社会保障をよくする北本の会	29 羽曳野社保協	
30	調布社保協			30 鴻巣市社会保障をよくする会	30 富田林社保協	
31	町田社保協			31 蓮田市社会保障推進協議会	31 河内長野社保協	
32	小金井社保協			32 熊谷地域社会保障推進協議会	32 四条畷社保協	
33	小平社保協			33 志木市社会保障をよくする会	33 寝屋川社保協	
34	日野社保協			34 草加の社会保障をよくする会	34 守口社保協	
35	東村山社保協			35 越谷市社会保障推進協議会	35 門真社保協	
36	国分寺社保協			36 比企地域社会保障をよくする会	36 枚方社保協	
37	国立社保協			37 川越市社会保障推進協議会	37 交野社保協	
38	狛江社保協			38 ふじみ野市社会保障をよくする会	38 港区社保協	
39	村山・大和社保協			39 白岡市社会保障推進協議会	39 大東社保協	
40	清瀬社保協			40 行田・羽生市社会保障をよくする会	40 西成社保協	
41	東久留米社保協			41 加須市の社会保障をよくする協議会	41 忠岡町社保協	
42	多摩社保協				42 藤井寺社保協	
43	稲城社保協				43 池田社保協	
44	西東京社保協				44 松原社保協	
45	西多摩社保協				45 和泉社保協	
					46 摂津社保協	
					47 東住吉区社保協	
					48 箕面社保協	
					49 都島区社保協	
					50 くまどり社保協	
					51 大阪狭山社保協	
					52 河南町社保協	

1万カ所学習会集約表(2022年8月総会・報告があった分の集計)

n	県名	22年7月回数	22年7月参加数	22年7月特徴・今後の予定など
51	北海道	2	260	
52	青森県	6	375	
53	岩手県	5	288	
54	宮城県	20	188	4病院再編統合・移転反対地区別学習会のみ掲載
55	秋田県	3	60	
56	山形県	1		
57	福島県	1		
58	茨城県			
59	栃木県			
60	群馬県			
61	埼玉県	16	465	<p>◆2021年の特徴 前年(2020年)のキャラバン行動の市町村訪問は中止し、アンケート及び要望書送付のみとしたためキャラバン学習会は大きく減少した。しかし、2021年は、参加人数を10人に自主的に制限して訪問が実現した。事前学習会は、地域社保協中心に開催し、意思統一を行うことができた。行政側からの理解・協力も得られた。</p> <p>◆2022年の特徴 キャラバン行動(2022年7月)に向けて、国保問題学習会が開かれた。</p>
62	千葉県	10	179	<p>●地域社保協未結成の地域団体に呼びかけ、自治体要請キャラバンに向けて学習会を行った。コロナ禍にあってもすべての自治体との懇談めざし、住民の声を自治体に届け地域社保協結成をめざしたい。</p> <p>●県予算学習会での検証で感染症対策、地域経済・雇用、防災、教育・子育て、教育、交通安全対策などの分野で県の責任が曖昧で予算も不十分なことが明らかになった。一方で、「新たな湾岸道路、千葉北西道路の具体化」や「千葉港中央地区ふ頭再編の推進」などの財政負担は県政の重石となるもので、不要不急の公共事業はじめ「市町村デジタル推進事業」などは見直しすべきとはっきりした。学習を力にいま、県がやるべきことは、憲法を活かし、「地方自治」の本旨に基づいて住民福祉の増進を図るためにその時点での地域住民の願い、要求を最優先で実現する内容になっているか。住民目線で検証することが重要と理解した。</p>
63	東京都	4	144	
64	神奈川県	31	4053	
65	山梨県	3	70	<p>市民連内の学習会は、社保協自体の紹介と運動課題をテーマに行った。自治体キャラバンなど共同して取り組んでいる課題があるので知ってもらい機会ができて良かった。</p> <p>・2022年4月以降、「全世代型社会保障改革の中身と今後の課題」のようなテーマでの学習会講師依頼がいくつかきている(いずれも年金者組合の単組中心)</p>
66	長野県	4	167	
67	新潟県			
68	富山県			
69	石川県			
70	福井県	1	40	
71	岐阜県	32	356	<p>・地域社保協が連続学習会を計画開催し、キャラバン懇談会以降も回答と懇談内容を検証して部署別に要望書を提出して懇談を重ねる流れがつけられてきた。(郡上市・岐阜市・恵那市・中津川市)</p> <p>・地域労組から春闘学習会に「地域社保づくりと組織づくり」について学習会依頼があった。</p> <p>・自治体キャラバン事前学習会講師に事務局だけがあたってきたが、幹事で分担して講師ができるようにしていく方向を検討。</p> <p>・「社会保障とは?そもそも何か」といった『分かりやすい』学習会依頼が地域社保協から増えている。新しい個人会員を迎えるためには重要なテーマです。</p>
72	静岡県	13	730	
73	愛知県	43	943	

n	県名	22年7月回数	22年7月参加数	22年7月特徴・今後の予定など
74	三重県			
75	滋賀県	1	43	
76	京都府	17	646	
77	大阪府			
78	奈良県			
79	和歌山県	6	118	
80	兵庫県	4	163	
81	岡山県	2	75	
82	広島県	2	103	
83	鳥取県			
84	島根県			
85	山口県	3	46	
86	徳島県	1	100	
87	香川県			
88	愛媛県			
89	高知県	1		
90	福岡県	1		
91	佐賀県			
92	長崎県	2	70	
93	大分県	1	6	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、2021年から学習会等の開催は控えている。
94	熊本県			
95	宮崎県	6		
96	鹿児島県	6		
97	沖縄県	5	290	2か月に1回の幹事会(代表者会議)ごとに公開学習会を短時間でも入れていきたい
合計		253	9,978	報告県数31
累計	2017総会	4,378	138,537	報告県数40
	2018総会	3,374	101,008	報告県数32
	2019総会	7,752	239,545	
	2020総会	1,159	25,535	報告県数17
	2021総会	191	7,067	報告県数22
	2022総会	253	9,978	報告県数31
	小計	17,107	521,670	
中央団体	医労連	27	2673	
	福祉保育労	1		
	年金者組合	4		

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（北海道社保協）

記入者（沢野 天）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>下記の5つの活動を重点に取り組んできましたが、2021年に入ってから、新型コロナウイルス感染症が広がり、脆弱な感染対策・体制などによって、医療崩壊も起き、国民の命や健康が脅かされ、ほとんど補償のない休業要請、さらに物価高騰などで、国民のくらしや中小業者の経営、医療機関、介護事業所の経営も深刻になり、この問題の解決を求めるとりくむもしました。</p> <p>①新型コロナウイルス感染によるいのちやくらし、中小企業など経営、地域経済など深刻な問題を乗り越え、いのちとくらしを最優先の社会に転換させることをめざします。</p> <p>②25条をはじめ憲法をくらしに活かし「憲法改悪・社会保障・規制緩和」に反対し、関係諸団体と共同して、消費税減税、国の責任による社会保障の拡充をめざします。</p> <p>③国保都道府県単位化、地域医療構想、医療費適正化政策など、市町村の裁量を奪う攻撃が強まる中、市町村といっしょに誰もがくらし続けられる自治体地域づくりをめざします。</p> <p>④生活保護パッシングを打ち破り、孤立死や貧困をなくす取り組みをすすめます。</p> <p>⑤当事者のたたかいに連帯し、共同の取り組みをひろげ社保協の組織強化をめざします。</p> <p>社会保障分野でも、実態に基づき、当事者を先頭に、社会保障の充実を求めて、共同を追求してきました。</p> <p>生活保護引き下げに対して「新・人間裁判」や、年金引き下げに対しては年金切り下げ違憲訴訟の支援活動をすすめました。</p> <p>医療や介護の分野では、診療報酬や介護報酬の改善、制度改悪に反対する取り組みをすすめました。新しいのち署名の項目などで地域医療を守る取り組みをすすめました。国保の都道府県単位化による保険料の値上げや徴収強化をしないように、また子ども医療費均等割の減免など北海道や市町村に働きかけました。また、全国的に最低レベルにある北海道の子ども医療費制度の拡充をはじめ各市町村でも子ども医療費無料化の拡充を求める運動も広がりました。労働分野でも、最低賃金の大幅引き上げを求める取り組みも広がりました。</p> <p>コロナ対策や物価高騰対策で、自治体へ働きかけました。</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <p>●北海道社保学校 i n 旭川。11月20日（日）に、旭川市で、実行委員会をつくり、全道をオンラインでつないで開催しました。記念講演は、伊藤千尋さんが「コロナ禍でこそ 憲法を活かそう！と題して行い、全道で160人が参加し、学びと活動交流の場として開催。</p> <p>●毎年、予算成立前に共同で行っている「いのちとくらしを守れ！集会、パレード」を、2022年2月19日（土）に、約100人が参加し、ユーチューブでも配信。社会派の講師 神田香織さんが「国民いじめの政治はいらない」をテーマに講演、各分野の実態やたたかいかいについて学び合いました。パレードも行った。</p>

<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>●コロナ感染が広がる中で、宣伝行動も重視し、感染対策を取りながら、他団体とも共同して宣伝も行いました。消費税の導入が決まった24日、生活保護支給日、毎回の年金支給日（15日）、消費税や後期高齢者医療制度が実施された4月1日、消費税増税を実施した10月1日をはじめ行動など行ってきました。</p> <p>●街頭相談会 12月3日：チカホ北3条大通交差点広場（西）12人13件の相談</p> <p>●電話相談会 「コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守るなんでも電話相談会」に参加しました。（○6月12日：75人相談、○8月21日：22人相談、○10月23日：2人相談、○12月18日：8人相談、○2022年2月19日：22人相談、○4月19日：23人相談、○6月11日：9人相談）</p> <p>●「くらしに役立つハンドブック」（2021-22年度版）</p> <p>●11月11日の「介護の日」を中心に、スピーチ&パレードを行い、深刻な介護の実態や介護制度の改善を訴え電話相談も。</p>	
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>●コロナ問題で、北海道等に要請</p> <p>●国保の都道府県単位問題で北海道に要請</p> <p>●地域医療問題・コロナ問題で北海道に要請</p> <p>●物価高騰問題で北海道に要請</p> <p>●北海道後期高齢者広域連合と懇談。</p> <p>●介護に笑顔を！道連絡会が、コロナ災害の影響や介護</p>	
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <p>●地域医療問題・コロナ問題、高齢者医療費値上げ問題、子ども医療費無料化などで、国会議員や道議会会派に要請。</p>	
<p>その他</p> <p>●年6回「笑顔をくらしたい」の発行</p> <p>●地域医療と公立病院を守る道連絡会</p> <p>●子ども医療費無料ネットワーク北海道</p> <p>●国保7者会議</p> <p>●介護に笑顔を！道連絡会</p> <p>●生活保護制度をよくする会 新・人間裁判を支援</p> <p>●年金裁判を支援する会 年金裁判を支援</p> <p>●雇用・くらし・SOSネットワーク北海道</p> <p>●いのちとくらしを守れ！集会 実行委員会</p> <p>●消費税廃止各界連と共同行動</p>	
<p>署名集約(取り組んだ署名を記入ください)</p>	<p>集約数(筆数)</p>
<p>各種署名</p>	<p>未集計</p>
<p>2021年度内に結成した地域社保協</p>	<p>なし</p>
<p>結成予定の地域社保協</p>	<p>なし</p>

2021年度(2021.5.1～2022.4.30)の取り組み報告

組織名／団体・地域 (青森県社協) 記入者(津川文彦)

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>① コロナ対策について県・市町村への要望活動 ② 国保の保険料の値下げ運動と高校生の均等割の廃止・減額運動 ③ 国保減免と短期・資格・留め置きの改善要求 ④ 介護の補足給付見直しと伴う市町村から助成運動 ⑤ 後期高齢者医療保険の窓口反対運動 ⑥ 就学援助の前年度前倒し要請(新入学児童生徒学用品費) ⑦ 子どもの医療費の無料化運動 2022年より三沢市むつ市・大鰐町21自治体へ2022年より弘前市高校卒業まで所得制限なしの無料実施(市長記者会見) ⑧ 学校給食無料運動 五所川原市・平川市で実施済みです 中核都市で初めて青森市が義務教育学校の給食費無料で10億予算化 ⑨ 学校施設内の除草剤ラウンドアップの使用禁止運動 ⑩ 学校現場にトイレ に生理用品を ⑪ 歯科検診毎年実施要望3自治体が5年ごとの歯科検診実施済み ⑫ その他</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <p>① いのちのまもる緊急行動青森集会(53名) ② 10.14集会(125名) ③ 秋の介護介護ウエーブ学習会(86名) ④ いのちのとりで裁判学習会(63名) ⑤ 介護をよくする学習会(48名) ⑥ コロナ何でも相談会相談員学習会</p>
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>① いのち集会スタンディング(130名)青森弘前八戸 ② 怒りの青森集会 ③ 県社協の街宣活動(毎月25日) ④ コロナで相談会 8月10月12月2月4月6月相談員は1回で15名から21名ずつ参加</p>
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>キャラバン行動100項目以上の調査コロナ禍で40自治体内27自治体訪他の自治体に対しては回答後電話や第2次質問3次質問を重ねた 後期高齢者医療費の2倍化反対の請願行動 コロナ緊急策要請 青森市議 懇談会</p>

<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <p>① 議員の要請</p>	
<p>署名集約(取り組んだ署名を記入ください)</p>	<p>集約数(筆数)</p>
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	8793筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	12421筆
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	4986筆
④ 「年金改善署名」	7356筆
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	453筆
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	13526筆
⑨ その他()	
⑩	
<p>2020年度内に結成した地域社協</p> <p>再結成年月日(2020年7月28日) 名称(西北五地区社会保障推進協議会)</p>	
<p>結成予定の地域社協</p> <p>結成予定日 2023年までに) 名称(下北社協) 結成予定日() 名称() 結成予定日() 名称()</p>	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（岩手県社会保障推進協議会）

記入者（高橋 ）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>県社保協結成から25年、2年越しとなるコロナ禍のもとで、県内における地域医療再編、介護保険、国保税、生活保護、子ども医療費制度、被災者の医療費・介護保険料利用料の免除など、県民要求に応える取り組みをすすめた。</p> <p>○公立・公的病院等の病床削減・再編問題は、県立釜石病院をはじめとする三陸沿岸地域の医師確保、奥州市内における地域医療をめぐって、県・自治体への地域署名・議会請願が採択された。現在、沿岸地域の住民アンケートに取り組んでいる。</p> <p>○「被災地医療費・介護保険料利用料の免除措置の継続を求める請願」は不採択となり、11年間の免除措置に終符が打たれた。保険医協会が毎年行っている被災地アンケートでは、通院回数が減ったり中断したりするケースが半数に上っており、安心して医療が受けられるための緊急措置が急がれている。</p> <p>○介護保険の「補足給付」見直しについて、岩手の介護を良くする会が緊急のアンケートを行ない負担増の実態が明らかとなった。「補足給付の中止を求める請願」は不採択となったが、介護改善運動を地域から進めていくための学習会を実施。</p> <p>○子ども医療費助成制度は、高校生までの助成が33市町村中30市町村となった（22年8月実施含む）。引続き所得制限と一部負担をなくす運動に取り組む。</p> <p>○国保改善の運動では、18歳までの子どもの均等割全額免除実施は2自治体にとどまっているため、全自治体に子どもの均等割全額免除を求める要請書を送付した。国保税の改定状況は、21年度で2市、22年度では3市町で引上げられ、他は据置きとなった。保険税水準の平準化については、市町村間での意見の隔たりが大きいことから慎重に検討するとしている。</p> <p>○盛岡地域社保協再建に向けた協議を開始した。</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <p>○NPO岩手地域総研、県生健会と共催で障害者の生活、就労等に関する学習会を実施。</p> <p>○介護保険の抜本的な改革を求めるための学習会を、いわての介護を良くする会と共同開催。（21年9月）</p>
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>○全国一斉宣伝行動は、2月25日に国民春闘盛岡地域行動参加者20人と、4月25日に消費税なくす会、年金者組合、医労連等16人と実施。</p> <p>○介護・認知症なんでも相談（11月11日）は相談件数が10件あり、1台の回線では間に合わなかった。コロナ禍が長引く中、リモート面会に対する不安・不満、ケアマネとの意思疎通不足や関係悪化、孤立、認知症への対応など様々な相談が寄せられ、前年より深刻さが増している印象を受けた。テレビ3社の取材・放映があった。</p> <p>○いい介護の日宣伝行動は、介護を良くする会や加盟団体と署名・宣伝を実施。テレビ放映もされた。</p>
<p>自治体要請（キャラバン）・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>○「いのち署名」請願は、岩手医労連が中心となつてすべての自治体に実施。採択は17自治体（県含む）、一部・趣旨採択は8自治体、不採択5自治体。（22年4月現在）</p> <p>○「被災地の医療費・介護保険料利用料の免除継続を求める請願」不採択（21年6月）</p>

<p>○「沿岸地域における県立病院の医師確保による機能の充実を求める請願」採択（9月）</p> <p>○「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度を求める請願・意見書」採択（同）</p> <p>○「介護保険施設における補足給付見直しの中지를求める請願」不採択（21年12月）</p> <p>○自治体における国保・後期高齢者医療の保険料減免、窓口負担減免、傷病手当状況について、岩手民医連と共同でアンケートを行なった。（21年5月）</p> <p>○釜石病院の医師確保要請行動（21年6月）</p> <p>○18歳までの子どもの均等割全額免除を求める要請書を33自治体に送付。</p> <p>○盛岡市への要請懇談を生健会とともに実施（21年11月）</p> <p>○後期高齢者医療広域連合との懇談を要請したが、コロナ感染拡大を理由に文書回答となった。</p>																						
<p>議員要請行動について（国会議員、地方議員等）</p> <p>○共産党県議団の県政への要望を聞く会（5回）</p> <p>○地元選出参議院議員（野党統一）との要請・懇談（22年2月）</p>																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>署名集約（取り組んだ署名を記入ください）</th> <th>集約数（筆数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいのち署名）</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td>③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 「年金改善署名」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 「生活保護改善関連署名」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥ 「保育改善署名」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 「憲法改悪反対署名」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨ その他「75歳医療費窓口負担2割化10月実施中止」団体署名</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>⑩ その他「介護従事者の賃金を全額公費により全産業まで引き上げることを求める」団体署名</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）	① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいのち署名）	86	② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	375	③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）		④ 「年金改善署名」		⑤ 「生活保護改善関連署名」		⑥ 「保育改善署名」		⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名		⑧ 「憲法改悪反対署名」		⑨ その他「75歳医療費窓口負担2割化10月実施中止」団体署名	23	⑩ その他「介護従事者の賃金を全額公費により全産業まで引き上げることを求める」団体署名	19
署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）																					
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいのち署名）	86																					
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	375																					
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）																						
④ 「年金改善署名」																						
⑤ 「生活保護改善関連署名」																						
⑥ 「保育改善署名」																						
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名																						
⑧ 「憲法改悪反対署名」																						
⑨ その他「75歳医療費窓口負担2割化10月実施中止」団体署名	23																					
⑩ その他「介護従事者の賃金を全額公費により全産業まで引き上げることを求める」団体署名	19																					
<p>2020年度内に結成した地域社保協</p> <p>結成年月日() 名称()</p> <p>結成年月日() 名称()</p> <p>結成年月日() 名称()</p>																						
<p>結成予定の地域社保協</p> <p>結成予定日() 名称()</p> <p>結成予定日() 名称()</p> <p>結成予定日() 名称()</p>																						

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（秋田県社保協） 記入者（佐竹）

この一年間の取り組みの特徴について	
<p>コロナから県民の命とくらしを守ることを第一に、全県の介護施設利用者へのコロナや補給給付改定による影響調査（回答60施設）、中央社保協が提起する全国一斉「介護110番」、さらに「命とくらしを守る110番」、「誰もが安心できる介護保険への転換を求める」国への意見書提出を求める」市町村議会への陳情、市町村長への国保税子供の均等割軽減要請を行いました。また、県内生活保護利用者48名が秋田地裁に提訴した生活保護裁判を人間らしく生きる裁判を支える会として宣伝・署名・裁判傍聴などの支援をしてきました。コロナ禍で署名への取り組みはさまざまな困難がありましたが、可能な限り街頭実施基本にしてみました。残念ながら3月7日秋田地裁判決では「原告の訴えを棄却」する不当判決でした。大阪に続き、5月26日には熊本地裁、6月24日の東京地裁での原告勝訴の判決に勇気をいただきながら仙台高裁秋田支部での闘いを継続します。</p>	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ	
① 介護、② 国保、③ 地域医療に係る講演会（報告書へ）を開催	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<p>① 「誰もが安心できる介護保険への転換を求める」国への意見書提出の陳情」を秋田県内25市町村12月議会に提出。結果別紙（採択17、趣旨採択5、不採択3）</p> <p>② 国保子供の均等割り減免要請を全県市町村長に行いました。法定軽減されている子供の人数等のアンケートも協力依頼し、未就学児童の5割軽減では市長村の負担が微々たる財源で可能であることも判明しましたが、急速な少子化進行に伴い深刻な実態あることも把握、新たな運動課題なども見えてくる成果がありました。</p>	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
<p>75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求め、秋田市に事務所置く、衆・参議院議員、自民党は富樫博之（衆）、石井浩郎（参）、立憲民主党の寺田学（衆）、寺田静（参）に要請書を秋田県高齢期運動実行委員会として共同で提出。</p>	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）	1,694
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	1,292
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	254
④ 「年金改善署名」	425
⑤ 「生活保護改善関連署名」	5,385（最終合計）
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他（ ）	
⑩	
2021年度内に結成した地域社保協	
無し	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 宮城県社保協 ） 記入者（ 高橋 ）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>国民健康保険“払える保険料（税）”を求めた国保単単位化問題への継続的な取り組みをはじめ、公立・公的病院統合・再編公表をきっかけに結成された地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会は重点地域となった地域との連携強化をすすめてきた。4病院再編統合・移転反対の取り組みでは、組織運営での困難を抱えながら、反対署名活動を通信とした取り組みが進められた。また、公立刈田総合病院「指定管理者制度導入」を巡り、地域住民や市議会議員との共同した取り組みが進められた。</p> <p>諸課題でも、他団体との共同を進め、宮城青葉の会や宮商連と連携した仙台市への要請懇談、障害当事者を中心に17年目を迎えたみやぎアピール大行動実行委員会、「消費税10%中止を！STOP！インボイス」訴え、毎月行われている街頭宣伝への参加、福祉労働者の処遇改善等を求める福祉ウェブ実行委員会、介護保険改善を求めるみやぎ県民フォーラム実行委員会、「保険でより良い歯科医療を」宮城の会への参加等々、継続した運動に参加し共同を広げてきた。</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ</p>
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <ul style="list-style-type: none">・4病院再編統合・移転反対署名街頭宣伝・消費税5%に戻せ街頭宣伝

<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>「医療と福祉の拡充を求める」自治体キャラバンは、毎年地域社保協での事前学習会とあわせて開催。各地域社保協を始め、加美町・美里町・白石市・気仙沼では地域の団体・住民主体の事前学習会が開催され、多くの住民が参加し要請内容について学習を深め取り組まれた。</p> <p>2021キャラバンでも、公立・公的病院再編統合問題を含めた地域医療と国民健康保険を中心とした要請・懇談を行い、県内のコロナ感染が拡大している中、数ヶ月に及ぶ期間を要して取り組まれた。</p> <p>コロナ禍の影響で、県南4地域訪問はできなかったものの、全体ではのべ200名が参加し、これまでの運動の継続を力に、改善課題の前進と成果を実感したキャラバンとなった。</p>
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <ul style="list-style-type: none">7/15（水） 介護陳情：松島町議会意見聴取7/21（火） 地域医療懇談：「みやぎ県民の声」懇談7/27（月） 地域医療懇談：石垣のりこ参議院議員8/25（火） 岸田県議と白石地域医療を考える会懇談10/05（月） 共同行動／共産党名取市議団との懇談11/17（火） 国保良くする会・共産党県議との懇談 <p>等々</p>

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（山形県社会保障推進協議会） 記入者（工藤 剛）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いのち署名」はがき付きリーフ11,800枚を山形新聞（4/14）にて折り込み配布した。署名はがきの返送は10枚、署名数は23筆であった。うち4枚の「私のひとこと」欄に切実な訴えが記載してあった。 山形県民医連が「保険薬局に対する無料定額診療事業に関する議会請願・自治体要請」を提起し、鶴岡市での行動に対し鶴岡・田川地域社保協による署名活動等への協力を行った。 山形県への要請行動（7/15）を行い7名参加した。西村山地域の公立病院統合の検討状況、2021年度から開始の県単独の保育料軽減の計画、出産費用負担軽減事業（新規）としての出産育児一時金による支援等について説明を受けた。 「いのちまもる緊急行動」山形行動（10/10）として山形駅前でのアピール行動、佐藤英仁東北福祉大准教授による学習講演を行った。 「やまがたの社会保障」誌第7号を10月末に150部発行してキャラバン行動訪問先自治体等に配布した。講演「地方議員から見た社会保障」等を掲載した。
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 県社保協第25回定期総会（10/2）の講演として、上山市議（元事務局長）より「FACTにもとづく新型コロナウイルス感染症」と題し必要な対策等についての考察の講義を受けた。 「いのちまもる緊急行動」山形行動で佐藤英仁氏より、「地域医療の衰退と現状と要因～数値で見る医療の動向と問題点～」と題し感染病床の削減と公立病院の役割等について講演いただいた。 県社保協、鶴岡田川と酒田飽海地域社保協によるキャラバン行動の事前学習会を11月と12月に行った。
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 「新しいち署名」は、新型コロナから県民を守る共同アクション参加の各団体による山形駅自由通路での署名行動も行った。 山形県民医連の「保険薬局に対する無料低額診療事業に関する要請署名」は、鶴岡市民から6,303筆を集約し鶴岡市長に手渡した。
<p>自治体要請（キャラバン）・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 11～12月に内陸地域11市、庄内5市町で行った。国保料軽減と資格証明書廃止、生活保護申請者が望まない扶養照会を控えることを重視した要請を行った。インフルエンザ予防接種の高齢者と妊婦への助成は、3自治体で昨年以降も実施。子ども医療費の高校生までの無料化は、35自治体中25（71.42%）となった。 自治体アンケートはキャラバン行動の事前に行い、訪問当日の資料として配布し活用している。
<p>議員要請行動について（国会議員、地方議員等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県選出の国会議員5名に75歳以上医療費窓口負担2割化中止を要請した。

署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）	19,606
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	15,969
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	11,691
④ 「年金改善署名」	235
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	民医連11,252
⑨ その他（ ）	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成予定の地域社保協	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（福島県社会保障推進協議会） 記入者（渡辺 喜弘）

この一年間の取り組みの特徴について オンラインでの会議開催 加盟団体への情報提供・共有 憲法改悪を許さない署名の推進を加盟団体とともに推進	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ 憲法についての学習を加盟団体構成員で実施	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴 いのちまもる緊急行動（アピール行動、アクション）	
自治体要請（キャラバン）・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について 高齢者キャラバン実施 郡山医療生協で無低診調剤費への自治体助成について請願（不採択）	
議員要請行動について（国会議員、地方議員等） 衆議院候補者への要請	
署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいのち署名）	4,463
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	1,610
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	1,354

④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	938
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	9,076
⑨ その他（ ）	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成年月日（ ） 名称（ ）	結
成年月日（ ） 名称（ ）	
結成予定の地域社保協	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	

※締め切り 7月25日（金）とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（**埼玉県社会保障推進協議会**） 記入者（事務局長 川嶋芳男）

この一年間の取り組みの特徴について	
<p>【埼玉社保協 第29期(2020.12.19～2021.12.18)の活動から】</p> <p>①自治体要請キャラバン行動(6/22～7/5)63市町村訪問 延431団体664人、行政726人 ②コロナ禍で活動に影響 埼玉社保学校中止(2021年9月) ③国会行動埼玉デーは困難な中でも実施 2021年通常国会 延10回84団体490人、後期高齢者医療医療費2倍化反対署名等提出 ④埼玉県政要求共同行動(2021.11.4) 37団体98人参加 総選挙直後の開催となる。</p> <p>【埼玉社保協 第30期(2021.12.18～)の活動から】</p> <p>①新春社会保障学習決起集会(1/26) Web併用 75人 記念講演・渡辺治氏 ②国会行動埼玉デー 延10回70団体250人参加 コロナ禍、平和、後期2割など要請 ③自治体要請キャラバン行動のアンケートを63市町村へ送付 ④年金引下げ違憲訴訟東京控訴審(2/18) ⑤生保基準引下げ違憲された訴訟 年内結審、2023年3月判決の見通し</p>	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ	
<p>【2021年】</p> <p>①キャラバン学習会(6月) 団体、地域社保協で開催 ②埼玉県高齢者大会(11/26) 150人 記念講演・雨宮処凛氏</p> <p>【2022年】</p> <p>①県保間協主催第37回埼玉子育て保育のつどい(1/30) 421人</p>	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
<p>県社保協や地域社保協主催で駅頭宣伝など実施</p>	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<p>【2021年】 3月アンケート送付、5月集計、6月懇談、8月回答書 【2022年】 3月アンケート送付</p>	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
<p>【2021年】大運動実行委員会主催国会行動埼玉デーに合流 延10回84団体490人参加 【2022年】同上 2022年通常国会 延10回70団体250人参加</p>	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいのち署名)	4,876筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	37,573筆
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	5,011筆
2020年度内に結成した地域社保協	なし
結成予定の地域社保協	なし

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（**社会保障推進千葉県協議会**） 記入者（藤田まつ子）

この一年間の取り組みの特徴について	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の下で、ひっ迫する医療・介護の現場、自粛要請で収入が激減した飲食業者、仕事を失った非正規労働者はじめ、困窮する住民の声を国と自治体に届け施策の改善・充実を求めてきた。</p>	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒別紙報告書へ	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
<p>○県社保協・消費税廃止県連絡会・県憲法共同センターによる共同定例宣伝などで「新しいのち署名」「消費税5%減税」「憲法改悪を許さない」署名を呼びかけ、「新しいのちまもる 医療・社会保障立て直せ! 10.14 総行動」はじめ国会内集会や署名提出行動にオンラインを含め、参加。</p> <p>○「いのちとくらしを守るなんでも相談会実行委員会ちば」（構成団体／自由法曹団千葉支部・県労働弁護団・県民医連・千商連・千葉労連・千葉土建・自治労連県本部・県社保協他）は、12月18日、千葉駅東口にテントを張り相談会を行った。同日開催の「コロナ災害を乗り越えるなんでも電話相談会」をNHKが昼のニュースで報道。駅前と合わせ14件の相談が寄せられた。他8月21日、10月23日、2月19日、4月23日と全国一斉の「コロナ災害を乗り越えるなんでも電話相談会」にも取り組んだ。</p> <p>○東葛地域では12月23日、松戸市、柏市、流山市、我孫子市、野田市、鎌ヶ谷市内の団体・事業所で作る「ちば東葛派遣村実行委員会」主催による「第15回労働・生活・健康なんでも相談会」が松戸駅西口デッキと千葉県弁護士会松戸支部会議室の両会場で開催。21～22日に行った事前電話相談に14件、23日の会場相談45件、のべ59件の相談が寄せられた。</p> <p>○「天海訴訟を支援する会」とともに「東京高裁での憲法と法律に基づく公正な判決を求める」個人・団体の署名に取り組み、1万筆を超える署名を届けた。</p>	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<p>30回目となった「社会保障の充実を求める 自治体要請キャラバン」では54市町村に対し、「住民税」「医療」「介護」「国保」「障害者福祉」「保育」「就学援助・子育て支援」「生活保護」「年金」「減災・防災」など95項目にわたる要請書を提出し、自治体本来の役割発揮を求めた。地域社保協、地域団体に呼びかけ、16市9町と懇談。県には9月2日、コロナ関連に絞り、現場の実態を訴え、県の役割発揮と施策の充実を要請した。</p>	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
<p>「高齢者のいのち、健康、人権を守る政治に転換めざす、学習決起集会&国会議員要請行動」をはじめ、「2倍化」の中止・撤回を求める国会行動などに結集し、県選出衆議院議員に「衆議院選挙の政策に、75歳以上医療費2割化中止を盛り込むよう」FAX要請。現在、地元選出の国会議員に対し、「75歳以上医療費窓口負担2割化を中止する法案を提出し、成立させること」を要請した。</p>	
署名集約	集約数
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願署名	2,482筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	5,564筆
③ 低所得者ゆえに保険料・利用料を払えない障害者支援策の拡充を求める請願署名	4,414筆
④ 熊谷県政にコロナ対策及び障害者施策の拡充を求める請願署名	4,385筆

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（東京社保協） 記入者（窪田）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>コロナ禍の中で従来の様な活動とはいかなかったが、オンライン会議、学習会など新たな方法も取り入れて毎月の常任幹事会など通常通りに開催してきた。地域社保協会への参加や学習会講師派遣は、ほとんどなかった。</p> <p>東京社保学校は、オンライン実施をしようと提案したが、従来通り会場で開催すべきという声もあって、時間切れで今期は開催できなかった。</p> <p>年間を通じて運動の中心となったのは、都政上の大問題である都立・公社14病院の地方独立行政法人化中止であった。諸団体と一緒に、学習会、宣伝、交渉、記者会見など行ってきて、都立病院を巡るかつてない運動とはなかったが、コロナ禍の中でデモ宣伝自粛などもあって、広く都民的な問題に押し上げるところまでは届かなかった。</p> <p>専従事務局長が急逝し、個人で抱えていた業務や運動が一時停滞した。</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8期介護保険事業計画に関する情報・意見交換会 ・都立・公社病院の独法化に関する学習会 ・介護保険制度の抜本的改革提言案の学習会 ・介護の専門性を可視化する学習会
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都立・公社病院の独法化中止を求める都議会包囲行動を4回開催。延べ1,820名参加。関連して新宿駅での宣伝、宣伝カーによる全都宣伝も複数回実施。独法化とその問題点を都民に知らせることにつながった。 ・4の日宣伝、各界連宣伝
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都民生活要求大運動実行委員会による、対都予算要望と懇談 ・「高すぎる国民健康保険(税)を引き下げ、誰もが安心できる国民健康保険制度の実現を求める請願」を21,119筆の署名を添えて都議会に提出 ・「都立・公社病院の地方独立行政法人化の中止を求める請願」を3定例会に渡って都議会に提出。署名は延べで172,788筆 ・「介護保険制度の抜本的転換を求める意見書提出に関する請願」を介護3団体連名で都議会に提出
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <p>介護保険制度の抜本的転換要望に対する衆議院会派アンケートを実施</p> <p>都立・公社病院の独法化中止で都議会各会派に複数回要請、懇談</p>

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	1,656
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	166
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	195
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	30
⑨ その他(国民健康保険料(税)引き下げ都議会宛請願署名)	15,816
⑩ 都立・公社病院独法化中止都議会宛請願署名	121,533
*期間は2021.4.23～2022.3.31で、東京社保協集約分。消費税などは各団体集約している	
2020年度内に結成した地域社保協 なし	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協 なし	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守をお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（神奈川県社保協） 記入者（根本隆）

この一年間の取り組みの特徴について			
<p>新型コロナウイルスの感染拡大は、私たち社保協の運営・運動を制約し、著しい困難をもたらした。そうした中でも、オンラインでの会議や学習会の開催などを工夫しての運営をすすめた。一年間の取り組みをとおして、以下の点が前進、教訓として浮かび上がった。</p>			
<p>① 国保、介護、後期高齢者医療などの社会保障の課題や消費税について、オンラインでの視聴も活用して学習会を持つことができた。地域段階でも国保、介護、後期高齢者医療などの課題について、学習を含めた集まりを持つことができた。</p>			
<p>② 街頭での宣伝行動は制約されたが、組織的な取り組みを強め、多くの署名を集めることができた。とくに「75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める請願署名」を最重点に位置づけ、14人の国会議員に紹介議員になっていただき、参議院での中止法案の提出という動きにつながった。</p>			
<p>③ 共同の広がりや要求と運動の前進に結びついている。最大のエポックは、8月にたたかわれた横浜市長選。カジノ反対の取り組みをとおして共同が広がり、それが力となって新市長が誕生した。県社保協の運動では、学習と宣伝活動、署名を広げるなどの活動をとおして、共同が前進した。75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める請願署名では、公団自治協が約6000筆の署名を集約した。国保の改善に向けた取り組みでは、神奈川県と全市町村に協力いただき、調査表が完成できた。介護保険の改善を求める運動では、学習会や調査活動に数多くの介護事業者の皆さんに協力していただいた。消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク（消費税ネット）には、神奈川県生協連がメンバーとなり、取り組みへの参加が広がっている。横浜市の障害者移動支援事業の改善実現の取り組みは、神奈川県肢障協と障神奈連だけでなく、浜身連、横浜市精連が参加し、横浜市や横浜市議との懇談をすすめることができた。</p>			
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒主な学習会			
月 日	名 称	講演者	参加人数等
6月19日	2021年度総会	長友薫輝氏 (三重短期大学教授)	24団体31人、オンライン参加15カ所
7月31日	75歳2倍化を中止させるスタート集会	寺尾正之氏 (日本医療総合研究所委員)	会場26人、オンライン参加22ヶ所
8月28～29日	中央社会保障学校	石川康弘氏 (神戸女学院大学教授) 他	オンライン視聴13カ所・30人超
9月4日	介護保険のいまと未来を考えるつどい	松田貴弘氏 (全日本民医連事務局次長)	会場24人、オンライン参加35ヶ所
9月24日	消費税ネット・シンポジウム	益子良一氏 (東京地方税理士会元副会長)	会場34人、オンライン参加50ヶ所

11月13日	2021 全県国保改善交流集会	神田敏史氏 (神奈川県自治労連委員長)	会場27人、オンライン参加33カ所
2月6日	介護のつどい実行委員会・学習会	林泰則氏 (全日本民医連事務局次長)	会場17人、オンライン参加63カ所
4月16日	消費税ネット・学習会	唐鎌直義氏 (佐久大学特任教授)	会場40人、オンライン参加25ヶ所
署名集約			集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)			18,595筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名			51,964筆
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)			11,161筆
④ 「生活保護改善関連署名」			8,463筆
⑤ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名			67,029筆
⑥ 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める緊急団体署名			387団体
⑦ 介護職員の処遇改善を求める緊急団体署名			414団体

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（山梨県社保協） 記入者（菅野幹子）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>・75歳以上の医療費2割化中止を求める運動 毎月の25条宣伝で署名の呼びかけやリーフ・ポケットティッシュ配布のほか、民主団体等の学習会に取り組み、啓蒙活動を行いました。 3月22日には、民医連職員として地元のラジオ局（YBSラジオ）に生出演。民医連の『いのちの相談所』の取り組みを紹介しながら、この問題についても発信しました。番組終了後、ラジオを聞いたリスナーから「(75歳以上の医療費2割化は)知らなかったが本当か?!」「署名を集めたいので送ってほしい」などの電話がありました。</p> <p>・地域社保協結成・再建の取り組み 2021年11月に念願だった北杜市社保協（社会保障を良くする北杜の会）を結成しました。県社保協とは別に独自の調査・自治体要請に取り組むことを課題に活動をはじめています。また、事務局の引継ぎができずに休眠状態となっていた甲府市社保協の再建を目指し2022年1月より準備会を立ち上げ、10月の再建総会に向けて役員体制や方針案作成など準備をすすめています。</p> <p>・学生食料支援活動『ほっとまんぶくP.J』の取り組み 山梨高等教育無償化をすすめる会の一員として、学生への食料支援活動に参加しました（2022/7/25時点で9回実施）。</p> <p>・幹事会の活性化と社保協ニュースの発行 毎月の幹事会で各団体の活動報告・交流を位置づけ、社保協ニュース（月1回発行）でそれぞれの取り組みを可視化することを心がけました。また、社会保障誌の拡大を視野に記事の紹介なども行っています。</p> <p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>・25条宣伝 県社保協と年金者組合甲府支部は、憲法25条にちなんだ取り組みとして毎月25日（25日が休日の場合はその前後）に甲府駅南口での宣伝署名行動を欠かさず行っています。平均10～15名の参加で、医療・介護現場の職員からの訴えのほか、署名の呼びかけ、ポケットティッシュやチラシ等の配布を行っています。また、大月市・都留市、北杜市などでも生健会や年金者組合を中心に同様の宣伝行動を実施しています。</p> <p>・11.11介護・認知症なんでも無料電話相談 民医連（介護ウェブ推進本部会議・共立介護支援センター）の協力のもと実施</p>

<p>3件の相談を受けました。</p>	
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>・国保・介護改善自治体キャラバン 自治体キャラバン（以下、要請行動）に取り組むにあたっては、毎年実施している国保・介護に関するアンケート調査を全27自治体へ依頼し、全自治体から回答を得ることができました。コロナ禍ということで対面での懇談を断られる自治体もありましたが、16自治体と懇談することができました（懇談ができないところは書面での回答を求めました）。また例年、民医連事業所や社保協などがない自治体での地元住民の参加が大きな課題となっていました。今回は道志村で実現することができました。引き続き地元住民の参加を迫りつつ、より実態に即した要請行動ができるよう準備をすすめていきたいです。</p>	
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <p>国会へ行くことができず、直接要請はできませんでした。</p>	
<p>その他</p> <p>・子どもの医療費・高校生医療費助成18歳まで対象年齢拡大、26/27自治体で実現 子どもの医療費・高校生医療費助成については、窓口無料の年齢拡大が大きく広がり、来年の年明けまでに県内26自治体（全27自治体）で実現することとなりました。この間の自治体キャラバン行動や地域での要求実現運動の成果が大きく実った形です。</p> <p>・重度心身障害者の医療費窓口無料復活を求める取り組み 重度心身障害者の医療費窓口無料復活を求める会の一員として県当局への要請行動をはじめ、重度心身障害者医療費助成事業についての調査を行いました。</p>	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他（ ）	
⑩	
<p>2020年度内に結成した地域社保協</p> <p>結成年月日(2021.11.27) 名称(社会保障制度を良くする北杜の会)</p>	

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（長野県社会保障推進協議会） 記入者（事務局長 原 健）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>*コロナ禍による会議、宣伝行動などへの活動制限のなかでの取り組みを余儀なくされた1年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県社保協事務局会議（第1金）、運営委員会（第2金）を定例開催してきた。国保部会（第2金）に加え、今期から介護部会を立ち上げ第3金曜日隔月で開催。 2. 25条定例宣伝の実施 コロナ感染拡大の状況をみながら実施。 3. 県社保協「国保運動交流集会」「介護提言学習会」をZ o o m併用により開催。 4. 公立・公的病院を守る長野県連絡会として、「いのちまもる緊急行動」、自治体への請願、国会議員要請に取り組んできた。 5. 参議院選挙県区補選、衆議院選挙に向けた県社保協「政策チラシ」を各5万枚作成し、加盟団体等へ配布。 6. 県社保協第27回定例総会（22.2.20）開催
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県社保協「国保運動交流集会」21.11.27（50名）集会講師：谷本論氏 2. 県社保協「介護抜本改革提言案学習会」22.1.21(35名)集会講師：林泰則氏 3. 県社保協第27回定例総会（22.2.20）開催 記念講演講師：村田隆史氏 4. 「福祉医療給付制度の改善をすすめる会講演会」（総会と同時開催22.5.29）
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25条定例宣伝は長野市、松本市で取り組まれ長野市（延べ123名）、松本市（延べ190名）が参加してきた。 ・「いのちまもる緊急行動」アピール行動日（9.5）は県下10か所233名が参加。
<p>自治体要請（キャラバン）・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社保協自治体キャラバンは、5地域の社保協が32市町村（42％）に、国保、介護、福祉医療、高齢者、生保などで要望書を提出し懇談を実施。 ・市町村に「75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願」「介護保険補足給付の見直しの中止・凍結を求める意見書提出の請願」。
<p>議員要請行動について（国会議員、地方議員等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会として、参議院県区補欠選挙候補者、衆議院選挙候補者（野党）に「再編統合方針の白紙撤回」を国に求め、撤回を野党共闘の共通政策とするよう要請。 ・地区社保協で集約した「岸田さんこの声聞いて」アンケート結果を衆参両院院選出議員に届け、実施の中止を要請（22.4.21）

署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）	3,546筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	3,970筆
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	2,510筆
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他（ ）	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成年月日（ ） 名称（ ）	結
成年月日（ ） 名称（ ）	
結成予定の地域社保協	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	

※締め切り 7月25日（金）とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（石川県社会保障推進協議会） 記入者（藤牧 圭介）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>全国的な「いのちを守る緊急行動」の運動に連帯し、9月5日にオンライン学習集会及び県内2カ所での街頭宣伝を実施しました。</p> <p>9月の石川県議会において「新型コロナウイルス等の感染症応を踏まえた地域の医療提供体制の確保・充実を求める」国への意見書が採択されました。</p> <p>7月、介護保険事業計画を基に推計した介護職員の必要数が石川県では2025年に100%となると報道されたことを受け、9月に県医療政策課課長との懇談を実施しました。あくまで国の計算式に則ったもので充足しているとは考えていないとの意見が表明された。</p> <p>ケア労働者の賃上げをめざすケアアクションとして、県内の医療・介護・福祉・保育の事業所1220カ所にアンケートと団体署名を送付、アンケート87団体署名57団体が集まりました。3月には県と金沢市へ要請、県内3カ所での街頭宣伝。厚労省への要望も行いました。</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県社保協定期総会記念講演「日本の医療崩壊をくい止める」講師：本田宏氏 ・いのちを守る緊急行動学習講演「コロナ禍が浮き彫りにした日本の医療提供体制」講師：長友薫輝氏 ・新春社会保障講演会「新自由主義的構造改革とは何だったのか」講師：横山壽一氏 ・自治体キャラバン事前学習会（羽咋市、白山市、野々市市、輪島市）
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>・</p>
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松市6月議会「新型コロナ感染症予防対策として、医療・介護福祉労働者への定期的頻回検査の実施および、学校給食無償化への要望書」6/2 南加賀社保協として小松市長と面会、福祉課長に提出。 ・内灘町6月議会「医療機関等の経営安定化を図る財政支援の拡充を求める請願書」 ・自治体キャラバン（10月末～11月中旬）に県内全自治体で実施。自治体アンケートの回答もすべての自治体から提出。冊子にして配布。 ・12/23 石川県健康福祉部との要望交渉を実施。県内各団体から20名の参加。
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p>

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいのち署名)	8,826筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	5,849筆
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	1,335筆
④ 「年金改善署名」	17筆
⑤ 「生活保護改善関連署名」	1,363筆
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	3,135筆
⑨ その他()	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称() 結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（福井県社会保障推進協議会） 記入者（錦織 龍彦）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>1. 通常、年度総会と記念講演を同時開催で企画するところ、今年度は分散開催としたことから、7月31日に総会、翌年3月20日に記念講演を開催することになり、キャラバンを始めとした行政への要請活動や宣伝に集中することが弱かった。</p> <p>2. 3年ぶりに「自治体アンケート」、「国保アンケート」にとりくみ、各自治体の社会保障施策の到達状況をまとめることができた。22年度のキャラバン、地域社保協づくりにむけての要請書づくりに活かしていきたい。</p> <p>3. 地域での食料品無料配布企画を、福井県医療生協が4回、嶺南社保協が2回実施した。</p> <p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p>
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の広がりや体制の不十分さはあったが、75歳以上医療費2倍化中止の街頭宣伝、署名活動を1度実施することができた。</p>
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>・2021年10月から福井県が子どもの医療費助成の範囲をそれまでの小3までから中3まで拡大することによって、県内17自治体中12自治体がそれまでの中3までの助成（一部はすでに高3まで実施済み）から高3まで拡大することを決めた（大野市は20歳まで）。県庁所在地である福井市が対象範囲の拡大を見送ったため、福井市に対して福井市社保協とともに高3までの拡大を申し入れた。この時に福井市は拡大を表明することはなかったが、2022年4月より半年遅れでの高3までの拡大を実施した。</p> <p>・キャラバンを実施することができなかった。地域社保協づくりの方針をもって準備会づくりをすすめながらキャラバンのとりくみを強めたい。</p>
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <p>・なし</p>

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	1, 136
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他()	
⑩	
<p>2020年度内に結成した地域社保協</p> <p>結成年月日() 名称()</p> <p>結成年月日() 名称() 結</p> <p>成年月日() 名称()</p>	なし
<p>結成予定の地域社保協</p> <p>結成予定日() 名称()</p> <p>結成予定日() 名称()</p> <p>結成予定日() 名称()</p>	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度(2021.5.1～2022.4.30)の取り組み報告

組織名／団体・地域（岐阜県社保協） 記入者（河村 彰英）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>◎少子化人口減少を前提にした様々な攻撃や予算・人員削減の中、市町村の運営や住民生活の将来にとって、少子化人口減少は死活問題であるとの認識から、自治体への要望・要請は、この問題を前提にした社会保障制度の単独事業拡充と、国や県の予算化を待たずに取り組むことを要求して自治体キャラバンや、地域社保協による要請・懇談を取り組んできました。1年で3地域の地域社保協設立は、「住民が声をあげないと前進できない」という共通認識が広がってきた結果と言えます。</p> <p>◎3つの地域社保協（可児・中津川・美濃）は、地域労組議長、退職市職員や退職した市社協職員、県内大学の講師（退職後）、退職した障がい者施設長が幹事や代表を務めています。同時に、公立・公的病院統廃合にたいして「東濃地域医療を守る連絡会」の広報や住民アンケート運動を通じて、個人加盟（ケアマネ、保育士、ヘルパー）が増加。</p> <p>◎地域社保協すべてが要望書を提出して懇談を重ねるスタイルが拡充。</p> <p>◎学習会は広く市民団体に呼びかけ年4～10回を開催している地域社保協（恵那・郡上）</p> <p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社保協が年間計画で、毎月学習会開催から年4回の開催と主体的な学習運動の取り組みが広がった。 ・労働組合の春闘学習会で、社保協の地域社保協設立の組織づくりテーマの学習会。 <p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事団体の岐阜健康友の会が民医連法人と共同して、病院・2診療所地域の12000軒に「暮らし困りごとアンケート」をポスティング。640件の回答集約。記者会見（新聞報道）と自治会連合会やまちづくり協議会との懇談実施。相談52名ありました。 <p>自治体要請（キャラバン）・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体懇談会は、コロナ禍の影響で3市が中止。18市と懇談開催。 ・自治体アンケートは40市町村（42市町村中）から回答。 ・初めて共産党地方議員等から要請があり、アンケート集計資料（21市分・19町村分）30部提供（1部200円） ◎下呂市が市内保育施設での紙おむつ処理を開始。（保育士と保護者負担軽減目的） ◎恵那市・海津市が18歳年度末までの医療費助成（現物給付）開始 ◎郡上市が18歳年度末までの医療費助成を商品券→償還払い→現物給付（6月） ◎山県市が2022年8月より小中学校（自校給食）給食費無償化開始 ◎土岐市がごみ出し困難世帯（登録制）を職員が軽トラで回収を開始。 <p>議員要請行動について（国会議員、地方議員等）</p>

署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいのち署名）	250
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	156
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	2748
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	757
⑧ 「憲法改悪反対署名」	150
⑨ その他（ ）	
⑩	
2021年度内に結成した地域社保協	
結成年月日（2021年10月10日）名称（中津川市社保協）	
結成年月日（2021年11月28日）名称（可児社保協）	
結成年月日（2021年12月18日）名称（美濃市社保協）	
結成予定の地域社保協	
結成予定日（2023年3月 ）名称（ 羽島社保協 ）	
結成予定日（2022年12月 ）名称（ 美濃加茂市社保協 ）	
結成予定日（ ）名称（ ）	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（静岡県社会保険推進協議会） 記入者（小高賢治）

この一年間の取り組みの特徴について

1) 介護改善運動のとりくみ

- ① 介護保険制度の抜本的転換を求める請願書名は、1,409筆が「新しいのち署名&介護署名1・28国会提出行動」等に提出されました。
- ② 「いい介護の日」の11月11日、「介護・認知症なんでも無料電話相談」に県社保協として今年も静岡民医連に依頼をして、午前10時～午後5時まで生協ケアプランセンター（浜北医療生協）の3名のケアマネジャーが後退で過去最高の15名の電話相談に応じました。またそれに先立ち10月22日には4団体（民医連、障しず協、新婦人、保険医協会）5名の参加で「人間らしい生活を！第6回県民のつどい」と併せて「介護・認知症なんでも無料電話相談」の記者会見を実施。選挙中であつたため2社（読売新聞、朝日新聞）の参加だけでしたが、介護保険の実態や高齢者の貧困問題を中心に行いました。

2) 地域医療を守る取組み

- ① 新しいのちの署名「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための国会請願署名」は県社保協各加盟団体で取組みられ、9,773筆が「新しいのち署名&介護署名1・28国会提出行動」等に提出されました。
- ② 今年も静岡県地方自治研究会（9/19）の分科会で「コロナ禍における医療危機を考える」の分科会を静岡自治労連が中心になってコロナ感染病棟での働き方や生き甲斐、働く環境等を自治労連加盟労働組合で交流しました。

3) 国保制度改善の取り組み

- ① 県社保協総会での方針に基づいて「県社保協国保部会」を行い、県との対応などの対策などを検討してきました。
- ② 県社保協として今年も、署名「国保料（税）の引下げと国民健康保険制度の改善を求める請願」署名に取組み、合計で8,841名の署名を12月県議会に提出しました。

また提出する前に今年も県議会各党派回り（ふじのくに、公明党、自民党、共産党）をして、請願趣旨説明と紹介議員のお願い等を行いました。

- ③ 国保改善署名は静岡、浜松でも地域社保協が中心になって取組みられ、それぞれの市議会（11月）に提出されました。

◇静岡市医療と福祉をよくする会 4,038筆

◇国民健康保険をよくする会（浜松） 3,501筆

浜松市の国保運営協議会は1月13日、2022年度から国保料の引き下げを市長に答申し、2月議会にかけ、2005年に合併して初めての世帯当たり5千円で総額5億円の引き下げを行い、「浜松国民健康保険をよくする会」が長年に渡り国保料引き下げ署名を取り組んできた努力が実りました。

- ④ 中央社保協国保学習交流集会（12/12）の会場（東京）をオンラインで繋いでロッキーセンターで視聴会を行い、ZOOMでの個人参加も含めて10名が参加・交流しました。また愛知県社保協主催の国保改善運動交流集会（9/27）に中央社保協東海ブロックの参加県社保協として2名参加し、活動報告を行いま

した。

4) 子ども医療費無料化の取組み

- ① 県の子ども医療費助成は、私たちの運動により18歳（高校生年代）までに拡大（2018年10月から実施）されました。またその後の交渉（運動）の成果もあり、県は充分な額とは言えないものの静岡、浜松両政令市への助成を決め、2019年度から全県での18歳（高校生年代）までの補助がされるようになっていました。
- ② 18歳年度末までの子ども医療費窓口負担500円について、新たに伊東市が2020年10月から完全無料になりました。2020年4月から9月までは請求すれば返金されるということですが、これで窓口完全無料化は35市町中22市町であと13市町が残されています。

5) 重度心身障害児者医療費助成制度について、

- ① 浜松市では2018年10月から現物支給になり、今年の障しず協の静岡市との懇談で、静岡市も医療費助成現物給付の検討をすることが明らかになりました。（政令市で実施していないのは仙台市と静岡市のみ）
- ② 「重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を」の意見書採択をしていくために、県議会でも国へ「意見書採択」の要請を行いました。まず、自民党党派と懇談しましたが今後引き続き取り組めます。

6) 75歳以上の医療費負担2倍化を中止させる運動

- ① 年金者組合、民医連、保険医協会をはじめ各団体で取組みられ、県社保協25条署名宣伝行動で計7回（2～5月、7月、12月、1月）、6月は「6・15医療費2倍化決壊抗議 実施ゆるすな！アピール宣伝行動」を行いました。全体では「1,28国会提出行動」等に県社保協加盟団体から4,723筆が提出されました。
- ② その他「県内選出国会議員に対して各団体からの「75歳以上医療費負担2割化撤回を求める要請」ファックス行動に取り組みました。また年金者組合では日本高齢期運動連絡会からの「75歳以上の医療費窓口負担が高齢者の受診行動に与える影響に関するアンケート」に協力しています。
- ③ 年金者組合、民医連では連合老人会や単位シニアクラブへの署名の働きかけを一定の地域で行いました。

8) 生活保護制度の充実 静岡生活保護引き下げ違憲訴訟裁判への支援

- ① 2013年生活保護基準引き下げ（第1次）訴訟は6月7日には生活保護引き下げ違憲訴訟静岡地裁の経過や論点、静岡地裁勝利に向けた合同記者会見を1時間以上に渡り行い、マスコミ8社と原告、支援する静岡の会10名が参加しました。
- ② 6月2日は「生存権に係る裁判を支援する静岡の会」として静岡市内で集会を行い、静岡市内や各団体からの参加も含め80名以上が参加しました。集会終了後は、裁判所まで「生活保護を引き下げるな！」「生活保護法を守れ！」「静岡地裁は絶対に勝つぞ！」などとコールをしながらのアピール行進を行いました。
- ③ 証人尋問は、6月2日は笹沼弘志静岡大学教授から生活保護法に違反していることを中心に証言。23日は原告2名から生活保護を受給するまでの経緯や受給者の大変な生活実態を証言。同日、静岡県立大学短期大学部の中澤秀一准教授が証言台に立ち、文化的な最低限度の生活をするためにどのくらいの費用が掛かるかを証言しました。また7月7日は静岡大学の土藤教授がいかん厚生労働省による生活扶助CPIがおかしい計算をしているのかを証言しました。

- ④ 2018年生活保護基準引き下げ（第2次訴訟）は口頭弁論1回、感染予防等による進行協議3回が行われました。第4回口頭弁論が11月26日に行われ、「被告の第2準備書面（求釈明の申立に対する回答）について」をそれぞれ裁判所に提出しました。
- ⑤ 「生存権にかかわる裁判を支援する静岡の会」ではこの1年で弁護士会議を9回開き、また「生活保護利用者生活環境訪問調査」を弁護士で昨年3月6日（土）午後、弁護士、支援者9名で掛川市の2件の生活保護利用者の住む住居（アパート）と住民の方を対象に行いました。
- 9) 年金制度改善、年金裁判支援のとりくみ
- ① 静岡年金裁判も21回の口頭弁論を経て、昨年7月2日に判決が下され、結果は不当判決でした。7月16日に、東京高等裁判所に『控訴』し、第1回口頭弁論が2月17日に東京高等裁判所で予定されていましたが、感染拡大の下で5月19日に延期になり「勝利する会」で大型バス1台で傍聴参加しました。
- ② 判決に向けて協力団体から集められた「公平な判決を求める要請書」2891名分が6月15日に裁判所に届けられた。

**学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ
「人間らしい生活を！いのちを守る第6回静岡県民のつどい」を開催**

- ① 10月30日、「人間らしい生活を！いのちを守る第6回静岡県民のつどい」が県社保協加盟団体をはじめ県下の支援団体など、実行委員会の主催でロッキーセンター大会議室をメイン会場としてオンライン併用で行われ、約30名の方が参加しました。
- ② 今回は静岡県立大学短期大学部の中澤秀一准教授に「～非正規雇用と安心できる年金を考える～働き方と暮らし、社会保障～」をテーマに講演をして頂き、新自由主義、全世代型社会保障改革の政策のなかで、若者の非正規雇用、働き方そして安心できる年金制度を考えました。
- ③ その後で、学生のアルバイト事情について（静岡学生支援ネットワーク 常葉竣氏）、障がい者の働く権利と生活（障害者（児）の生活と権利を守る静岡県連絡協議会 大石潤子氏）、生活できない年金と今後の課題（全日本年金者組合静岡県本部 事務局長 岡村雄馬氏）から報告をしてもらいました。「安心して働き、豊かな老後を送りたい」「当たり前のことが実現できる社会を諦めず実現したいです」「一つの社会問題は社会的なトータルな問題として捉え、考え行動していくことの大切さを教えてもらいました」などの感想が出されました（感想文より）。

署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴

県社保協としては毎月、静岡駅地下で25条テ－署名宣伝行動を昼休みの時間帯に実施。毎回6～7団体、10～10数名参加。「地域医療の拡充を求める署名」「県への国保改善署名」「後期高齢期者2割化反対署名」「介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名」等を行いました。

＜県民医療＞

各事業所に「いのちの相談所」活動として「医療、介護、治療費等でお困りの方はご相談下さい」のポスターを貼って相談活動を（前年度に引き続き）行なっています。

- ① 中部ブロックと浜松ブロックでは診療所地域での訪問行動を行い、署名のお願いや困っていることがないかを聞いています。
- ② 浜松ブロックを中心に外国人労働者をはじめとした生活苦から医療機関にかか

れず無料低額診療にたどり着く事例として、この間、何件かの浜松佐藤町診療所で対応をしたことが、一昨年、昨年と「クローズアップ現代」で放映されました。

③ 沼津では年末年始のお困りごと相談会（12/30）を静岡東部健康友の会沼津支部をはじめ、地域で就労支援、食料支援等されている11団体が米山町クリニック駐車場で行いました。食料提供は12世帯26人分配布し、終了後に「ひとり親の会」会員さんや外国人世帯にも配布しました。

＜県評＞

21 国民春闘の地域活性化運動として21年3/30（火）に静岡県労働雇用政策課とコロナ禍での非正規・女性労働者の貧困支援対策の強化を要請しました。担当課長からは関係各課へしっかり対応していくよう要請していると回答がありました。コロナ感染症対策では、PCR検査を拡充していくことが大切。民間と連携しワクチンと検査を併用していかなければならないと回答がありました。

労働相談では、西部地区労連、ローカルユニオン静岡が主になり、日々対応しています。コロナ禍の下、2020年は仕事が減少、賃金問題の相談が多かったが、2021年は解雇、雇用止めの相談が増え、併せてパワハラ相談が増えました。会社側はコロナで人員整理をしたいが、会社都合の解雇でなく、パワハラを行い、自ら辞める（自己都合）ように仕向ける行為が増えています。

**自治体要請（キャラバン）・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について
＜保険医協会＞**

「後発医薬品の供給不足による診療への影響調査」を実施し、厚労大臣宛の後発医薬品の早期安定供給等を求める要請書を提出しました。

国保保険料等実態調査、就学援助に関するアンケートを実施し、援助対象に「眼鏡」・「コンタクトレンズ」「補聴器」は含まれるかを県内市町に回答を求めました。軽度難聴者への補聴器購入援助、妊産婦医療費の実施を求める要請を県内議長等に対し行いました。

＜静岡自治労連＞

地域医療を守る運動（看護連絡会として、静岡自治労連・県医労連・静岡厚生連）看護連絡会として、5月に担当部署4名と看護連絡会4名で交渉をしました。11月にも担当部署4名と看護連絡会3名で交渉をしました。（2021.11・25）

県の担当者も「コロナの時期は公立病院に支えてもらったので公立病院の重要性は理解している」と発言し、公立病院で名指し病院は全て残すことを国に伝えていると発言がありました。

＜県生健会＞

県生健会として独自に2022年1月に県地域福祉課と生活保護改善要求をし、県が昨年交渉の回答で述べていた「生活保護の申請は国民の権利です」のポスターの作製は？と質したところ、「各県内の自治体に参考として県作成のチラシをつくって送付したところ」との回答をもらう成果もありました。

＜障しず協＞

1 昨年に引き続き昨年3月17日県へ緊急要望書を提出しました。①「重度心身障害者医療費助成制度の現物給付の実施を」 ②「重度障害者雇用施策との連携を掛川市でも実施できるよう指導を」 ③「静岡市に新設の特別支援学校関係者の意見を聞くように」 ④「障害者事業所の増設と独自の運営助成を」 また8月20日には ①パラリンピックの開催を中止、無観客などに子どもを動員しないように ②「コロナ禍で使えなくなったサービスを使えるような対策を」の内容で提出。秋には例年の要望書を

提出しました。	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	9, 773
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	4, 723
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	1, 409
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	29, 470
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	7, 250
⑨ その他(国民健康保険料(税)の引き下げを求める請願)	8, 841
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	結
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守をお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

《中央社保協第66回全国総会議案／付属資料》

2021年度(2021.5.1～2022.4.30)の取り組み報告
組織名／団体・地域(愛知社保協) 記入者(小松民子)

この一年間の取り組みの特徴について

1. 社会保障制度拡充求める共同行動 新しいち署名・75歳以上窓口2倍化反対・介護改善等、中央社保協の方針を受けて、方針の具体化と推進をした。
2. 愛知は9月7日にスタート集会を開催し意思統一。会場40人Web4人が参加した。「新しいち署名」「75歳医療費窓口負担2倍化反対」「介護改善」等の署名はじめ、各団体の重点署名、全9団体が報告して情報の共有と互いに学び、さらに創意工夫しながら取り組むことを意思統一した。
3. 424共同行動、424共同行動事務局会議を開催し、情勢の学習と当面の方針を検討し進めた。424共同行動は事務局会議を、〇〇回開催、424共同行動ニュースを133号～191号(6月16日)を発行した。
4. 介護課題
 - 1) 介護情勢の学習会参加
 - ① 2021年9月26日午前、「介護保険料を下げるための地域運動の構築を目指して」介護学習会を開催した。講師は日下部雅喜氏(大阪社保協)、会場は労働会館東館ホールにてWeb併用で行なった。
 - ② 10月31日全国介護学習交流集会にWebで参加した。
 - ③ 中央段階の学習会についても紹介し参加を呼び掛けた。
 - ④ 6月6日「介護保険料引き下げと介護保険基金の繰越金関係」について内山治夫氏を講師に学習した。参加は7人。
 - 2) エssenシャルワーカーの処遇改善、賃上げ、増員を求めた。
 - ① 介護職の賃金引上げのたたかいについて取り組んだ。
 - ② 11月11日福保労と医労連の共同でワンオペ記者会見を行った。夜勤中に倒れ死亡した介護職員の事例紹介や、207件のアンケート結果を発表した。愛労連参加の労働組合がプロジェクトチームを組んで、アンケート調査。記者会見、共同宣伝、国会議員訪問など取り組み運動を推進した。
5. 国保改善にむけて
 - 1) 国保対策委員会を、年5回開催した。(5月27日、7月14日、9月1日、12月8日、2月28日)・国保を中心に医療・社会保障をめぐる動向を確認し、行動を相談実践した。
 - 2) 「国保改善運動交流集会」の取り組みを2021年9月26日(日)開催し、43人が参加した。東海ブロックの共催でした。
 - 3) 行政への要請
 - ① 県と名古屋市に対して、「検査の抜本拡充などコロナ感染拡大から県民の健康を守る緊急の要請」を提出(7月31日)
 - ② 県内市町村に対して、「市町村独自の保険料減免(法定外繰入)への制限」の撤回を求める要望」を提出(2022年2月)
 - ③ 愛知県と県内市町村に対して、「国保料(税)負担の軽減と、市町村独自の国保料(税)減免の拡充を求める要請」を提出(5月18日)し、懇談を申し入れた。
6. 後期高齢者医療制度
 - 1) 75歳以上窓口負担2倍化中止署名を中心に、年金者組合、保団連、社保協

<p>の共同行動に結集した。</p> <p>2) 5月26日国会署名提出行動の前段の5月16日に全国一斉記者会見が提起され、愛知でも行った。</p> <p>3) 愛知県後期高齢者広域連合議会対策 議会への請願提出、膨張行動等</p> <p>① 8月23日と2月14日の広域連合議会に請願を提出し議会傍聴を行った。全議員に紹介議員の要請を行うも、応諾議員は、共産党議員の3名だけで、請願は不採択。傍聴参加者は15名限定であったが年金者組合とともに参加。</p> <p>② 広域連合議会事務局との懇談を実施(11月16日)。10人参加。</p> <p>2) 不服審査請求、口頭意見陳述</p> <p>① 2021年度不服審査請求提出を10月1日に参加者41名で申請書を784件提出した。(年金者組合35名652件、新日本婦人の会1名117件、生健会4名21件、社保協1名)</p> <p>② 不服審査請求784件に対する口頭意見陳述が、5月25日愛知自治センター12階会議室Eにて行われ、陳述人3人と傍聴者18名(20名定員で2名欠席)が参加した。</p> <p>③ 2022年不服審査請求の準備を始める</p> <p>7. 年金裁判、年金者署名</p> <p>① 名古屋高裁1回目の控訴審が11月26日14時から開催された。終了後報告集会を開催。それに先立ち、11月24日原告決起・勝利集会を開催した。</p> <p>② 名古屋高裁2回目の控訴審が3月1日行なわれ、終了後報告集会を開催。次回は9月15日に予定される。</p> <p>8. 生活保護裁判支援</p> <p>1) 名古屋高裁 第3回9月27日控訴審・報告集会、第4回1月24日控訴審・報告集会、第5回4月25日控訴審は中止(裁判所の都合による)となり、第5回は7月11日となった。第6回10月7日、第7回11月28日となった。</p> <p>2) 愛知支援する会 第5回定期総会を5月21日(土)午後1時半から開催。ZOOM手配で全国からも激励を受けた</p> <p>3) いのちの砦裁判全国総会が6月25日(土)労働会館ホールで開催され、成功に向け参加し運営に協力した。いのちの砦裁判に参加の全国の原告団と連帯し取り組んだ。</p> <p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <p>1) 中央社会保障学校が愛知で開催され、現地実行委員会の一員・地元として奮闘した。コロナ禍のため1年延期、企画内容も全面見直しとなったが、無事やり遂げることができた。愛知は登録124人、1日目、会場に58人、Web参加49人計107人。2日目会場58人、Web参加24人の82人。のべ参加者182人と最大規模の参加であった。</p> <p>2) 第23回あいち社会保障学校は、「コロナ禍だからこそ、暮らしと社会保障の充実を」をテーマに2022年3月12日開催した。参加者は、会場45人、Web25人計70人であった。記念講演は、本田宏氏「記念講演「社会保障切り捨て日本への処方せん～新型コロナ感染症を乗り越えて～」」「キャラバンまとめ」報告を澤田副議長、「知ってトクするパンフ2022版」が報告した。</p> <p>3) 2022年版知ってトクするパンフを1月に発行した。</p> <p>① 中日新聞2月10日から18日で紹介記事を要請した。その後、中日新聞、中央社保協「社保誌」紹介広告、新婦人中央機関誌、毎日新聞でも紹介された。</p> <p>② 名古屋市内の介護事業所に対して、FAXで紹介し申込を案内した。</p>

<p>③ 発行部数は、愛知6万冊、保団連25万冊合計31万冊。普及を進めている</p> <p>4) 第23回愛知高齢者大会は11月26日午前中に開催し180人が参加した。同日、年金裁判名古屋高裁第1回口頭弁論期日となったこととコロナ禍であり、午前・全体会のみ開催とし「全世代型社会保障の改革と人権としての社会保障のあり方」をテーマに長友薫輝三重短期大学教授が記念講演を行なった。</p> <p>5) 5月15日東海自治体学校、2つの分科会の開催に社保協として協力した。</p> <p>全体集会では、記念講演を保坂展人さん(東京都世田谷区長)が「区民・職員とともに築いた区政11年、参加と協働のまちづくりの展望」のテーマで講演。会場参加120人、ZOOM参加80人。200人超え。現役の参加が課題。分科会は9、地域医療分科会(会場8人)と介護分科会(会場12人、Web1人)の運営に協力した。</p> <p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>1) 署名宣伝行動</p> <p>① 11月介護アクション月間の宣伝として、愛知は11月3日名古屋市公会堂の憲法集会参加者に向け実施した。署名は、いのち署名・69筆、75歳署名・17筆、保育99筆を集約した。西村、西尾、矢野、武田、松井、小松、保育9人</p> <p>② 11月13日ドクター・ナース・介護ウエーブを行った。参加者は20名、署名と短時間集会で社保協代表は日下事務局次長が挨拶した。また、5月11日にもドクター・ナース・介護ウエーブを行なった。雨の中、短時間の集会と名古屋栄をパレードし注目を集めた。</p> <p>③ 3月31日消費税なくせ連絡会ロングラン宣伝行動に合計35人が参加した。</p> <p>④ 5月1日第93回メーデー愛知中央会場にて会場入り口にて実施。雨天のため署名宣伝行動は中止としたが、「75歳署名入ティッシュ」300コ配布。愛知は6地域で開催、中央会場には800人が参加した。</p> <p>⑤ 5月3日憲法集会集会参加者を対象行なった。署名：いのち署名91筆、自治労連職員増やせ36筆、憲法3 合計130筆を集約した。</p> <p>⑥ 5月19日(木)18時～栄メルサ前 保団連の行動に、医労連等白衣で、保険医協会35名、医労連2が行動した。</p> <p>2) 相談活動</p> <p>① 11月11日介護・認知症なんでも無料電話相談に、愛知は相談員12名、38件の相談を受けた。最終的に、中央への相談が4件あり42件であった。</p> <p>② コロナ災害を乗り越えるいのちと暮らしを守るなんでも電話相談会実行委員会を愛労連や愛知弁護士会、社保協で結成し実行委員長に森谷議長が担った。相談活動は、2021年8月から2022年6月まで、8月8日、10月10日、12月19日、2月20日、4月24日、6月11日と8回、520件累計883件の相談に対応した。</p> <p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>○ 2021年愛知自治体キャラバン</p> <p>1) 2021年10月19日(火)～22日(金)、28日岡崎市・豊明市、29日幸田町と愛知県内52市町村を5コースに分け訪問し懇談。名古屋市11月4日(木)、愛知県11月8日(月)、東三河広域連合11月18日(木)に懇談した。コロナ禍での訪問日程だったため、東浦町のWeb開催、豊明市や阿久比町の「書面開催」等、多数の調整が求められた。最終的に、阿久比町が書面对応になった。会場の蜜を避けるために、当局の参加者入れ替え、参加者の人数制限など個別に対応した結果、最終的に自治体と懇談が実施できたことを高く評価したい。</p>

2) 要請団の参加者は、参加者総数は延べ700(798)人であった。コロナを理由に参加人数の制限や参加の自粛による縮小もあり前年を大きく下回った。	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等) 2月6日全労連ローカルビッグアクションの日、愛労連の「全国一律最低賃金制度をめざす」要請行動に、「新しいち署名」について合流し、愛知県内の国会議員に要請した。「最賃」では愛労連が2020年から4回目という実績の上に、自民等議員4人、立憲民主等4人、共産党が3人の11人が賛同を得ている。	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください) ※ 署名は現在集約中です。	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他()	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協 結成年月日(2021年10月) 名称(あま津島地域社保協) 結成年月日(2021年9月) 名称(年金者組合岡崎支部) 結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協 結成予定日() 名称() 結成予定日() 名称() 結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守をお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

《中央社保協第66回全国総会議案／付属資料》

2021年度(2021.5.1～2022.4.30)の取り組み報告

組織名／団体・地域(滋賀県社会保障推進協議会) 記入者(田村 誠)

この一年間の取り組みの特徴について 毎月、定例の幹事会を開催し、課題を共有する。 新たに結成された大津社保協は、独自での対市懇談など旺盛に取り組まれる。 社保協近畿ブロックに結集し、近畿の社保協の取り組みや課題などを共有する。	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴 署名・宣伝行動は、県社保協では取り組んでいない。 相談活動は、いい介護の日11/11の「介護・認知症なんでも無料電話相談」のみ。	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について 滋賀県社保協では、取り組んでいない。県労連に主になっていただき「県民要求実行委員会」と共催という形で実施。滋賀県社保協独自の自治体アンケートを作成し、アンケート集約し、自治体キャラバンに活用する年度もあり。 地方議会請願は、滋賀県社保協では、取り組んでいない。国保単位化問題については、何度か県と懇談を実施する。	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等) 滋賀県社保協では、取り組んでいない。	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他()	

⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	結
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

《中央社保協第66回全国総会議案／付属資料》

2021年度(2021.5.1～2022.4.30)の取り組み報告

組織名／団体・地域(京都社会保障推進協議会) 記入者(松本隆浩)

この一年間の取り組みの特徴について

- 1 京都市行財政改革とのたたかい 敬老乗車証改悪、学童・児童館利用料引き上げ、保育園補助金削減などあらゆる分野の「行財政改革」をすすめる京都市の問題を明らかにし、学習会開催・宣伝・署名・申し入れなど、市民のための市政への転換を求めてきた(現在も継続中)。「歴史都市・京都が大変なことになっている」と中国・韓国テレビも取材。
- 2 新型コロナウイルス対策 職場や地域での実態や取り組みを共有。加盟団体・地域の要求を集約し、第8次・9次の要望書を提出。府市民総行動実行委員会に参加し、学習会・署名・京都府京都市申し入れなどに取り組んできた。各地域で取り組まれている食プロ、連帯ひろばに参加、取り組みの交流を行ってきた。また、福祉・障害施設での「留め置き」問題について社会的に問題提起してきている。
- 3 地域医療を守る取り組み：10月9日京丹波町病院守る学習集会を開催、50人が参加。11月23日全国運動交流集会で京丹波町での地域から医療を守る取り組みを報告。美山診療所の医療を守る取り組みに参加。保険でよい歯科医療を守る取り組み署名や市民講演会などに参加。
- 4 介護・福祉を守る取り組み 京都市の介護保険認定給付業務委託問題についてアンケートに取り組み、声明発表。改定の影響調査をテーマにした学習会を開催。介護110番に認知症のひとと家族の会、民医連、医労連、ケアマネット、ケアユニオンと取り組んだ。認知症と家族の会に加入。障害者施設の状況について運営委員会で共有。児童扶養手当不支給裁判支援。
- 5 10年以上継続して取り組んでいる「消費税廃止・社会保障守る宣伝行動」に取り組んできた。
- 6 食の安全を求める学習会を10月9日に開催。
- 7 生活保護裁判・生活保護行政 京都・新生存権裁判支援する会事務局として取り組みの一翼を担っている。不正な亀岡生活保護行政を正し、市民の権利を保障するように学習会、集会、亀岡市要請などに取り組んできた。
- 8 子どもの権利を守る取り組み こども部会を中心に、「こどもにとって居心地の良い場所とは」シンポに取り組んだ。子どもの権利条約制定ネットワークにも参加。公立保育所の廃止、民営化問題にも取り組んできた。地域で取り組まれているこども食堂の取り組みを共有。京都市による学童児童館支部との団体交渉拒否事件支援。
- 9 高齢期運動・最低保障年金確立を求める取り組み 「わかりやすい年金のはなし」学習会開催。補聴器への公的助成を求める取り組み(署名、議会決議など)。後期高齢者広域連合議会に2割負担中止を求める請願。全国高齢者大会実行委員会に参加。
- 10 府民の権利を守る取り組み 関西アスベスト裁判、戦争する国許さない19行動などに参加。

学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ ・運営委員会で「社会保障入門テキスト」をテキストに、それぞれ運営委員をチャーターに分野ごとの学習会を開催。 ・社会保障入門テキストを各団体・地域社保協に配布。憲法・平和パンフは、運営委員に配布。	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴 ・コロナ禍の下での京都府の施策を求める取り組みは、はがき署名による取り組みだったが、対面での署名行動が難しい中、効果あった。 ・新しいのちの署名連続宣伝（3月12日、3月19日、4月23日、5月14日）	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について ・11月から1月にかけて府内25市町村を訪問（宇治田原町はコロナ感染のために訪問せず）。事前に送付・回答いただいた調査票と各地域の要望を中心に懇談を行った。亀岡市は初めてオンラインでの懇談を行った。 ・補聴器の公的助成を求める請願	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等) ・社会保障の充実などの陳情書をキャラバン行動の際に府内各議会に提出。亀岡市議会では意見陳述を行った。 ・京都府議会に高すぎる国保料の引き下げを求める請願。京都市議会には高すぎる国保料の引き下げ、行財政改革の中止などの請願・陳情を提出。	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいのち署名)	9,769
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	1,688
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	668
④ 「年金改善署名」	6,300
⑤ 「生活保護改善関連署名」	3,200
⑥ 「保育改善署名」	29,087
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	*京都総評集約
⑧ 「憲法改悪反対署名」	*京都総評集約
⑨ その他(京都府にコロナ対策を求める署名)	27,136
⑩	

2020年度内に結成した地域社保協 結成年月日() 名称() 結成年月日() 名称() 結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協 結成予定日() 名称() 結成予定日() 名称() 結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（兵庫県社会保障推進協議会） 記入者（堤 匠）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>県知事選協、神戸市長選挙、衆議院選挙、参議院選挙とつづきそのつど公開質問をだし、要求実現要請と投票情報につなげた。要求内容は主に「感染症の対策に備え、保健所の拡充設置と、医師・看護師・介護職・保健師等の増員」「ウイルス感染症や大規模災害に対応する病床の設置と、その大半を担う公立・公的病院の拡充計画」「大規模で頻回にPCR検査を国の施策として実施」。</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻に抗議声明を2022年3/3ロシア大使館に配信した。</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民のいのちとくらしを守る要求実現連絡会（要求連）と連携。県への要望提出。2021年12/24県懇談。県政学習会2021年11/12参加。 ・いのけんセンター「マイナンバー学習会」2021年11/13、神戸市勤労会館。 ・22年度県当初予算学習（4/7幹事会特別報告；講師 共産党県議会） ・中央社保協 国保運動交流集会2021年12/12 WEB参加。 ・全国介護学習会2021年10/31 WEB視聴参加。 ・「介護職員処遇改善と10月臨時報酬改定緊急学習会」2022年2/9 WEB参加。 ・介護を崩壊させないシンポジウム2022年4/17 WEB視聴参加。 ・マイナンバー反対連絡会議全国学習会2021年9/15 WEB参加。 ・マイナンバー制度反対連絡会学習会&団体代表者会議2022年4/20 WEB参加。
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉行動兵庫共同行動 神戸、尼崎、西宮2021年9/4・/5（約87名参加）。 ・いのち・くらし・社会保障立て直せ一斉行動2022年3/25神戸市、尼崎市、姫路市（76名参加）。
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年自治体キャラバン要望書・アンケート8/20回収。宝塚社保協・尼崎社保協・但馬（豊岡市）神戸市協議会は独自要望書提出。 ・アンケート結果分析（10/4幹事会アンケート結果分析速報。1/6幹事会より各分野分析報告）。 ・懇談結果（豊岡市2022年7月から3歳まで所得制限無し医療費無料。養父市2021年12/1懇談に市長同席、補聴器補助国に要求確認。子ども医療費加古川市・稲美町・播磨町で2022年7月から18歳まで無料化・所得制限なし実施。尼崎社保協・子ども医療費無料署名前進）。
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・近畿総決起集会実行委員会と共同 実行委員会ホームページ開設、兵庫の情報掲載。近畿ブロック知事会（関西広域連合本部）と各県知事に緊急要望書2回発送。 ・新県知事（齋藤知事）宛緊急要望提出（健康福祉部社会福祉局担当者と懇談） 要望内容；「大規模で頻回にPCR検査の実施」「病床削減統廃合をやめ在宅療養者解消」。 ・「75歳医療費負担2倍中止」で2021年12月県議会に請願書提出。（自民、公明、維新など反対多数で否決）。 ・後期高齢者医療広域連合会請願運動 2021年8/17定例会「2割導入見送ること」請願提出（賛成少数で否決）。 2022年2/14定例会「保険料値上げ・2割負担中止」請願（紹介議員3名、賛成少数否決）。 ・国保議会 神戸市連協8/19、5名傍聴。 																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>署名集約(取り組んだ署名を記入ください)</th> <th>集約数(筆数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）</td> <td>9,630</td> </tr> <tr> <td>② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名</td> <td>27,098</td> </tr> <tr> <td>③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）</td> <td>10,601</td> </tr> <tr> <td>④ 「年金改善署名」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 「生活保護改善関連署名」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥ 「保育改善署名」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 「憲法改悪反対署名」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨ その他（ ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)	① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）	9,630	② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	27,098	③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	10,601	④ 「年金改善署名」		⑤ 「生活保護改善関連署名」		⑥ 「保育改善署名」		⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名		⑧ 「憲法改悪反対署名」		⑨ その他（ ）		⑩	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)																					
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）	9,630																					
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	27,098																					
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	10,601																					
④ 「年金改善署名」																						
⑤ 「生活保護改善関連署名」																						
⑥ 「保育改善署名」																						
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名																						
⑧ 「憲法改悪反対署名」																						
⑨ その他（ ）																						
⑩																						
<p>2020年度内に結成した地域社保協</p> <p>結成年月日() 名称()</p> <p>結成年月日() 名称() 結</p> <p>成年月日() 名称()</p>																						
<p>結成予定の地域社保協</p> <p>結成予定日() 名称()</p> <p>結成予定日() 名称()</p> <p>結成予定日() 名称()</p>																						

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守をお願いします

ます。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

《中央社保協第66回全国総会議案／付属資料》

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（和歌山県社保協） 記入者（佐藤 英昭）

この一年間の取り組みの特徴について

1. 不服審査請求行動・要請行動

今年は、審査請求運動の裾野を広げることを目標に掲げ、提出時期も保険料通知書が来て間を置かず7月に実施することになりました。4月17日には「スタート集会」を開催し議論をして頂きました。

結果として、審査請求者は後期高齢者が29人（前年度19）、介護保険が81人（前年度48）、国保が9人（前年度7）、団体署名が173（前年度162）でした。前年度より橋本伊都社保協が学習と書く会を開催し、請求人を広げました。新婦人が班まで団体署名を取り組みました。全体として運動の裾野を広げることができたのではないかと思います。

7月26日（月）、後期高齢者医療、介護保険、国保の不服審査請求の提出行動を行いました。市役所前から県庁正面前へ昼休みデモが行われ約60人が参加しました。

後期高齢者医療広域連合への要請では、保険料を引き下げることに対しては「準備基金（余剰金）を活用して、保険料適正化に努める」と回答。75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止に対しては「情報提供、丁寧な説明を行うよう全国協議会を通じて厚労大臣に要望している。」と回答しました。22年度の保険料は、所得割が0.18%減額され、均等割額は据え置かれました。

口頭意見陳述は、介護保険は1月28日（和歌山市）、2月9日（岩出市）で実施され、和歌山市で14人（前年度8人）、岩出市で6人（前年度5人）が意見陳述をおこないました。

後期高齢者医療は、今年度は希望者すべてに対して審査会での意見陳述の機会を得ることができ、7人（前年度8人）が意見陳述をおこないました。国保は3月31日に2人（前年度2人）が意見陳述を行いました。

2. 後期高齢者医療広域連合議会への請願

①2021年7月議会で、保険料軽減に関する請願と75歳以上の医療費2割負担凍結を求めた請願を提出しました。紹介議員はいずれもかつらぎ町の東芝議員です。請願は、賛成議員はいずれも3人（かつらぎ町 高野町 那智勝浦町）で否決されました。

②2月15日（火）、和歌山県後期高齢者医療広域連合議会が開催されました。この中で、2022年度、23年度の保険料の改定が行われました。所得割が0.18%減額され、均等割額は据え置かれました。この結果、保険料の上限額が64万円から66万円に引き上げられる他は、保険料は据え置きか引き下げられません。コロナ感染拡大による受診抑制で医療費が抑えられ約30億円の剰余金が生じたことが保険料引き下げの要因になっています。

3. 宣伝行動

①年金天引き日の宣伝活動と、奇数月の25日に25条宣伝活動を行いました。

②県社保協、中央社保協の提起を受けて、県地評、大運動実行委員会とともに合同で9月4日（土）に、「いのちまもる緊急行動」を実施しました。JR和歌山駅前前で宣伝カーから、

<p>医療従事者や介護従事者がコロナ禍の現状を訴えました。</p> <p>4. 裁判支援のとりくみ</p> <p>①「生活保護裁判」への傍聴をよびかけ「生存権裁判を支援するわかやまの会」の活動に参加しました。6月4日には「支援する会」第8回総会が開催されました。</p> <p>②年金引下げ違憲訴訟については裁判傍聴を呼びかけました。5月21日に第6回「支援する会」総会が開催されました。</p> <p>5. 75歳以上の医療費窓口2割負担中止の運動</p> <p>①各団体で署名活動により組みました。</p> <p>②カメポスターを作成し、各団体で活用しました。</p> <p>③保団連の署名月ハガキを7,500活用し、962通（2022年7月8日現在）返信されました。</p> <p>6. 地域医療を守る運動</p> <p>新宮市立医療センターが医師不足のために分娩を中止するということが起き、住民の間で不安が広がりました。紀南大運動実行委員会は、新宮市職労とともに県知事あての署名活動に取り組み3千筆を集め、県知事に提出しました。関係者の努力が実り6月から分娩予約が再開できました。</p> <p>有田地域では、市立病院が指定管理に移行することが発表され、市立病院の機能がどうなるのか心配されました。医労連が情報提供、学習会の講師を派遣するなど協力して、有田地区労の呼びかけで住民の会が結成され、住民アンケート活動などに取り組んでいます。</p> <p>7. 新たな組織の加盟</p> <p>和歌山県視力障害者の生活を守る会が加盟しました。</p> <p>8. 事務局体制の強化</p> <p>11月27日の第30回総会にて、専任事務局長を配置し、事務局体制を強化しました。</p> <p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <p>①7月10日（土）、第28回和歌山県社会保障学校・和歌山市社保協20周年記念講演を開催しました。記念講演としてNPOほっとプラス代表幹事の藤田孝典さんに、「コロナ禍から見える貧困問題と社会保障運動の課題」と題して、ご講演頂きました。ZOOMと会場参加の併用で行い、21名の会場参加と、15ヶ所20名がWEBで参加しました。</p> <p>②11月27日（土）、県社保協の第30回総会と記念講演会を開催しました。13団体から19人が出席しました。総会に続いて記念講演会を開催しました。会場参加は26人、オンラインは5会場から参加がありました。講師には、愛媛大学の鈴木静教授を会場にお迎えし、「コロナ禍で問われる人権保障と社会保障制度」～国際動向をふまえた人権保障システムの確立を～というテーマでお話頂きました。</p>
--

<p>③11月11日（木）、国民要求実現紀南大運動実行委員会が主催する学習会が開催され、県社保協から佐藤事務局長を講師として派遣しました。21人が参加しました。</p> <p>「全世代型社会保障改革」の狙いは何か、岸田内閣が言う「新しい資本主義」の中身について学習し、今こそ、社会保障費を予算の主役に据える政策転換を求める運動を広げようと話われました。</p> <p>④12月18日（土）、橋本伊都社保協が第5回総会を開催され、30人が参加されました。記念講演会は、和歌山大学教授の金川めぐみさんが「社会保障と生存権～コロナ禍の状況から考える」と題して講演されました。</p> <p>⑤1月20日（木）、西牟婁地評が春闘共闘の結成総会を開催しました。総会にあわせて開かれた学習会に県社保協から佐藤事務局長が講師として参加しました。コロナ対応で医療現場が逼迫している時に、地域医療構想による病院のベッド減らしを止めようと訴えました。</p> <p>⑥4月16日（土）、第11回社会保障の現場からの報告を聞き考える会を開催しました。前回から約1年ぶりの開催となりました。今回のテーマは、フードバンク活動を取りあげました。民青同盟件委員長に話題提供をして頂きました。</p> <p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>① 橋本・伊都社保協と年金者組合は2月22日（火）に、75歳以上の医療費2倍か中止を求める宣伝活動を早朝より、林間田園都市駅まで行いました。地元から7人と、県医労連・社保協から2人が参加しました。時折小雪が散る冷える中、通勤途上の市民らが署名ハガキ入りティッシュを受け取りました。</p> <p>② 橋本伊都社保協は、2022年6月9日（木）、高齢化がすすむ団地で75歳2割負担の署名ハガキを500部配布しました。</p> <p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>① 橋本・伊都社保協は75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める請願を各市・町議会に提出しました（高野町議会は陳情）。九度山町議会、高野町議会、かつらぎ町議会で請願を採択しました。</p> <p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>署名集約(取り組んだ署名を記入ください)</th> <th>集約数(筆数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名</td> <td>13, 143 (7/21現在)</td> </tr> </tbody> </table>	署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)	① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)		② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	13, 143 (7/21現在)
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)					
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)						
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	13, 143 (7/21現在)					

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（鳥取県社保協） 記入者（木下直子）

この一年間の取り組みの特徴について	
<p>コロナ禍で集まってなにかする等のことは制限されていたが、住民のいのちとくらしのために社保協として行動する場面はあった。</p> <p>自治体キャラバンで懇談する際に、他県のすすんだ施策を紹介したり、客観的データを出すなど工夫ができればはじめた。また、自治体キャラバンは、集团的なまともを行っていないことが課題であったが、初めてまとめの学習会を開くことができた。</p>	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ	
<ul style="list-style-type: none"> ・いのちを守る緊急行動の際、中央社保協は枝次長に情勢報告をいただいた ・キャラバンに先立ち、9月にオンラインで学習会を実施 ・自治体キャラバンの報告と、後期高齢者医療制度の動向のレクチャー（講師：広域連合議員 田中克美さん）の2本立てでWEB開催。18人が参加 	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院選挙にともない、秋に提起されたいのちを守る緊急行動に合流。県労連と共同して宣伝カーを運行し、スタンディング宣伝を実施（2日間） ・相談活動は、初めて介護なんでも電話相談に参加した。 ・困っている住民を支援し、困りごとを掘り起こすねらいを兼ねた食料支援活動の実行委員会に県社保協として参加 	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ・キャラバンは県内全自治体を対象に働きかけ、懇談実施もしくは要請への文書回答が13ヵ所。前年より増えた。 ・高齢者福祉の分野から要望していた補聴器の購入にかかる助成金制度の創設が3町村（湯梨浜町、大山町、日吉津村）で実現。 ・医療分野の要請項目に数年来盛り込んできた「無料低額診療事業の利用者の保険薬局での窓口負担金を免除する制度の創設」の要請項目に対して、後日、鳥取市の担当者が詳細を聴き取りに来るといった動き。 	
議員要請行動について(国會議員、地方議員等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者保険料を値上げしないよう求める陳情を鳥取県後期高齢広域連合に行った。2年に1度見直されている後期高齢者の保険料が、22年度から引きあげられる動きがあると広域連合議員から情報が寄せられ、22年2月の広域連合議会に引き上げをしないよう求める陳情書を提出。賛成議員は2人で、不採択。同議会には久しく請願・陳情が出されることがなかったと判明。今後は意識的に動向を追い、必要な働きかけを行っていくことを確認する機会となった。 	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	

④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他（ ）	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	結
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 島根県社保協 ） 記入者（ 平田保 ）

この一年間の取り組みの特徴について	
3月に県社保協の総会を開催、今年は中央社保協の是枝事務局長に「社会保障をめぐる情勢と社保協の役割」と題してご講演いただき、学習しました。中央社保協の呼びかけで取り組まれた9.5全国一斉蜂起は県社保協と労連の呼びかけでスタンディングとリレートークでアピールすることができました。自治体キャラバンは全19市町村へアンケートを送付し16市町より回答を得ました。アンケートをもとに19項目の自治体要望書を提出し、12市町より回答を得、2市で懇談を行いました。各種署名は加盟団体で取り組みました。	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ特になし	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
9月5日（日）に、医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動・全国一斉蜂起を県社保協と労連の呼びかけで42人が参加、松江イオン前と出雲市役所前でスタンディングとリレートークを行いました。	
自治体要請（キャラバン）・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
自治体要請キャラバンは、市町村アンケートと社会保障の拡充をもとめる要望書の提出を行いました。市町村アンケートは19市町村中、16市町より回答（回収率84%）がありました。要望書への回答は12市町に留まりました。（同63%）また、松江市と出雲市の2市で要望に対する懇談を行い、意見交換しました。	
議員要請行動について（国会議員、地方議員等）	
特になし	
署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいのち署名）	1,994
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	5,854
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	3,802
④ 「年金改善署名」	未掌握
⑤ 「生活保護改善関連署名」	未掌握
⑥ 「保育改善署名」	未掌握
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	未掌握
⑧ 「憲法改悪反対署名」	未掌握
⑨ その他（ ）	

⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日（ ） 名称（ ）	なし
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成予定の地域社保協	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	

※締め切り 7月25日（金）とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（岡山県社保協） 記入者（森本）

この一年間の取り組みの特徴について	
この1年間も新型コロナパンデミックに振り回され、さまざまな活動が制約を余儀なくされた。 そんな中、5月に「地域社保協づくり学習会」をハイブリッド開催。学習会後、二つの地域社保協準備会を結成するなど、この間にはない前進面もあった。 社会保障政策・制度要求闘争は当然推進しつつ、政策・制度の改善待ちになることなく生活困窮者を支援する必要があるのではないか、という問題意識から、4月に「北長瀬コミュニティブリッジ」（食料品と日用品の支援を必要とする世帯が、人目を気にすることなく、プレゼンターが提供する食料品と日用品を任意の時間に受け取りにいくことができる仕組み）の「フードプレゼンター」登録をし、2回にわたって食料品の提供をした。	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ	
<ul style="list-style-type: none"> ・8/22の県社保協総会で、立教大学・芝田英昭教授を講師に、全世代型社会保障について学習 ・5/28、大阪社保協の寺内事務局長を講師に、地域社保協づくりについて学習 	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
<ul style="list-style-type: none"> ・署名・宣伝行動は、構成団体が独自に実施 	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ・5/21、県に、「新型コロナウイルス感染拡大第4波の襲来にもなう緊急要請」を実施 ・10月末から11月上旬にかけ、「社会保障の充実を求める全県キャラバン」を実施 	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいのち署名)	15,511筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	7,889筆
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	2,466筆
④ 「年金改善署名」	85筆
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	13,032筆

⑨ その他 ()	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	結
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日(未定) 名称(真庭市社保協〔仮称〕)	
結成予定日(未定) 名称(総社市社保協〔仮称〕)	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 広島県社保協 ） 記入者（ 藤本 ）

この一年間の取り組みの特徴について	
<p>① いのちを守る署名（新・旧）を軸に、住民の声を反映した地域医療提供体制の充実を求める取り組みとして「424共同広島」に結集して運動を継続してきました。自治労連と医労連が独自に「新しいのちを守る署名」でもハガキ署名用紙を作成、県労連・地域労連が地域行動組織の事務局として役割を果たし、5月まで地域ボスティング活動を積み重ねてきました。</p> <p>② 国保改善の要求では広島県との間でようやく意見交流会を21年11月に開催できましたが、県の姿勢は基本的に国に追随する方向であることがうかがわれました。広島市と福山市に対しては、それぞれ地域社保協が中心に請願署名と要請行動が積み重ねられています。</p>	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
2か月に一度年金支給日を基本に、社会保障拡充を求める街頭宣伝署名行動を広島市内では継続しています。	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<p>① 新しいのち署名の請願内容で21年8-9に全自治体へ要請及び請願→3市町が新たに意見書を採択し23市町中9市町となりました。</p> <p>② 22春は県労連を通じ「ケア労働者の大幅賃上げ」（県独自の措置も追加要求）で県と全市町に要請・請願。現時点で2市町が国への意見書を採択と連絡ありました。</p>	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
地元選出国會議員に対しては県医労連で「新しいのち署名」の内容で陳情がとくまれ、紹介応諾2名(立民)賛同約束2名(自民)の返事を得ています。	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいのち署名)	11,086
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	
④ 「年金改善署名」	

⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他()	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	結
結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守をお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 山口県社保協 ） 記入者（ 川辺 ）

この一年間の取り組みの特徴について	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の元、zoom会議を中心に 対面会議を含めて8回開催した。 ・県社保協役員の中から県知事選挙候補者があり奮闘した。 ・新しい地域社保協作りには至らなかった。 ・中央社保協の社会保障の一斉街頭宣伝行動に呼応して2回行った。 	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療学習会 5/20 15名 ・憲法学習会 6/12 伊藤真 150名 ・社会保障誌増刊 2021秋号及び2022春号(社会保障論)を全加盟団体へ配布 	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
<ul style="list-style-type: none"> ・9/9 社会保障・全国一斉宣伝行動 山口市で集会と街宣 40名参加 ・11/11 介護・認知症なんでも相談 ・4/25 社会保障全国一斉宣伝行動 宇部市で街宣 6名 	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体キャラバン行動 11/9～16 懇談し文書回答受・アンケート集約 ・山口県健康福祉部長と懇談10/28 12/23交渉 文書回答受 	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいのち署名)	1200筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	1300筆
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	900筆
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	2257筆

⑨ その他 ()	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	結
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（徳島県社保協） 記入者（楠藤義朝）

この一年間の取り組みの特徴について	
<p>コロナ禍により、運営委員会もオンラインに切り替えて開催。高齢の方の多い運営委員のコロナ感染防止につとめた運営となった。全国統一記者会見の計画について具体化を試みたが、実現しなかった。</p>	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ	
<p>2021年9月に「いのちまもる徳島学習決起集会」をオンライン併用で開催。100人が参加。学習講師には本田安医師を招き、現在の医療供給体制の脆弱性と政府方針の問題点を学んだ。県医療福祉政策課課長も出席され、県の医師体制の現状と養成の必要性も話された。</p>	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
<p>社保協としての宣伝等、運動は実施できていない。社保協構成団体が、それぞれの運動団体が計画する宣伝行動などに参加している。</p>	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<p>自治体キャラバンは実施できなかった。 2022年6月に物価高からくらしを守る施策の実施を求める要請書を県知事に対して提出した。</p>	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
<p>構成団体である医労連が、県選出議員に対していのち署名と75歳2倍化実施を止める要請を行った。仁木議員が要請に応え、賛同議員になってくれた。5.26いのち署名国会要請行動でも、国会での奮闘を約束する発言表明をされた。</p>	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	

④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他()	
⑩	
※社保協としては	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	なし
結成年月日() 名称()	
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 福岡県社保協 ） 記入者（ 甲斐 光洋 ）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>国保の取り組みでは、全市長村のコロナ禍における、77条減免、44条減免、傷病手当の減免件数の実施状況について調査し、統一要望書を作成しました。広域連合議会への請願行動、傍聴、窓口2倍化撤回についての署名に取り組みました。連合議会議員に対する懇談の申し入れにおいて、初めて2人の首長との懇談が実現しましたが、当日議会での賛同には至りませんでした。「いかんよ貧困福岡の会」に参加し、生活保護基準引き下げ違憲訴訟、年金引き下げ違憲訴訟への傍聴支援や、改悪を許さない署名に取り組みました。障害者分野での取り組みでは、天海訴訟の署名に取り組みました。また、旧優生保護法裁判福岡訴訟において公正な判決を求める要請の署名に取り組みました。</p> <p>前期から広報活動に力を入れており、ホームページの情報発信を継続して行いました。機関紙「福岡県の社会保障」は4回発行し、FAXメールニュースも17回発信しました。</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <p>2022年2月20日に日本医療総合研究所の寺尾正之さんを招聘し、地域医療を守り、発展させるための今後の展望について学びました。</p>
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>7月29日の連合議会開会前に、ホテル玄関前の歩道にて、窓口負担2倍化中止を求めるアピール行動を25名の参加で行いました。</p> <p>10月3日、福岡県総がかり実行委員会の呼びかけで、「選挙行こう！政治を変えよう」をスローガンに福岡市内にて宣伝行動を行いました。また、同時時間帯に福岡県内4ヵ所でも実施しました。</p> <p>いかんよ貧困福岡の会の宣伝行動（博多駅前）にも参加しました。</p>
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>2021年度版福岡県市町村アンケート報告集を作成し、3年連続で作成することができました。県内60自治体の内、54自治体から回答をいただき、90%の到達となっています。</p> <p>「地域医療を守り、医療・介護・福祉、公衆衛生の拡充を求める意見書の採択を求める陳情書」において、4自治体にて採択されました。</p>
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <p>「新しいち署名」を中心に、立憲民主党の国会議員2名と懇談することができました。連合議会議員34名全員に議会が開催される度に、懇談の申し入れを行い、2名の首長と懇談することができました。</p>

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	9,807
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	1,208
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	
④ 「年金改善署名」	126
⑤ 「生活保護改善関連署名」	66
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他(旧優生保護法裁判福岡訴訟において公正な判決を求める要請署名)	96
⑩	
<p>2020年度内に結成した地域社保協</p> <p>結成年月日() 名称()</p> <p>結成年月日() 名称() 結</p> <p>結成年月日() 名称()</p>	
<p>結成予定の地域社保協</p> <p>結成予定日() 名称()</p> <p>結成予定日() 名称()</p> <p>結成予定日() 名称()</p>	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（長崎県社会保障推進協議会） 記入者（吉田 明香）

この一年間の取り組みの特徴について	
<p>コロナ禍が続くなか、ほとんどの取り組みをWEBで行い、対面での活動は限定的なものとした。</p> <p>WEBで行う利点を後継者育成にもつなげたいとの意識をもって、構成団体への案内等を行ったが、構成団体の高齢化・会員減少もあり、短期に結果が出る状況にはない。</p> <p>自治体キャラバンと2ヶ月ごとのニュース発行など、できる範囲を着実に実施する状況。</p>	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ	
別紙報告	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
なし	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<p>自治体キャラバンで以下を実施</p> <p>① 自治体事前アンケート（全自治体より回答）</p> <p>② アンケート結果と要請書を自治体へ送付</p> <p>③ コロナ禍なので自治体の意向もくんで、出来る範囲で懇談（要請書の回答をもらう：全自治体より回答。21自治体のうち17自治体と対面・WEBで懇談）</p> <p>④ アンケート結果冊子の市町議員への活用依頼送付（58冊注文あり）</p> <p>⑤ 県との懇談</p>	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
なし	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
※各団体集約のため、県社保協としての集約はありません。	
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会	

請願署名（新しいち署名）	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他（ ）	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	なし
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	なし
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（大分県社保協） 記入者（佐藤稔）

この一年間の取り組みの特徴について
<p>2021年度に掲げた活動方針ととりくみ</p> <p>2021年度は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響で、幹事会や社会保障要求自治体キャラバンの中止等、活動を大幅に制限される中での1年となりました。</p> <p>(1)いのちまもる緊急行動「大分行動」のとりくみ</p> <p>県労連の呼びかけによる「医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動「大分行動」」に参加し、対県要請行動（9月3日 県庁）や合同記者会見（大分朝日放送、大分合同新聞）、さらに「全国一斉蜂起 0905大分行動」（9月5日 大分駅北口広場）（37名/県労連10、社保協5、医労連5、新婦人5、全生連5、県商連5、医療生協2）では、川野会長がリレートークおよびスタンディングアピールでのスピーチをおこないました。集会後は、通行人にVOICEチラシ500枚を配布しました。</p> <p>衆議院予定候補者への要請行動として、大分2区候補者の2名（衛藤征士郎事務所（佐伯市）、吉川元事務所（臼杵市））を訪ねし、秘書と面談・要請をおこないました。</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染症対策に関する行動</p> <p>新型コロナ感染症の対策として、大分県へ①新型コロナ対策への特別予算を抜本的に見直し、大幅に引き上げること。また、市町村への経済的支援を行うこと。②国に対して、新型コロナ対策への特別予算を大幅に引き上げるよう要請すること。③国に対して、国庫負担で「いつでも・誰でも・何度でも」抗原検査およびPCR検査が受けられるよう求める等、コロナ禍における県民の負担軽減措置を要請し、懇談を行いました。</p> <p>さらに県に対して、新型コロナウイルス感染症における医療・介護・保健所・障害者福祉の体制強化を求め、①医療・介護・障害者・高齢者施設の従事者に対し、抗原検査の定期検査を実施すること。②すべての市町村に「抗原検査センター」の設置を求め、県としても設置に対する支援を行うこと。設置期間は、新型コロナ感染が収束するまで延長すること。③新型コロナ感染の陽性者が、速やかに安心して隔離保護や治療が受けられるよう隔離施設の拡大や医療機関に対する体制および設備支援を行うこと。④保健所の保健師の人員増による体制強化をおこなうこと。⑤医療・介護・障害者・高齢者施設および保健所の従事者に対して、心理カウンセラーを配置して心身のケアに努めること。⑥国に対して、「公的・公立病院の再編統合」の再検証リストを撤回し、公的・公立病院の拡充計画を示すよう要請すること等を要請し、文書での回答を求め、回答に対する懇談をおこないました。これらに要請に対して、県は保健師の人数を増やしていることや国による「公的・公立病院の再編統合」の対象となっている竹田医師会立病院と臼杵コスモス病院の再編統合について、反対の立場で厚労省に要請していることを確認しました。</p> <p>(3)国保制度改善の取り組み</p> <p>「県民要求実現大分県連絡会議」とともに大分県に対し、①新型コロナ感染の影響による生活困窮者に対して、国の制度では救済されない県民へ県独自の国保税および医療費一部負担金を減免する「特別救済制度」を創設すること。②新型コロナウイルスの早期治療や感染拡大防止のため、生活困窮により保険税を払えない困窮者へは「資格証明書」および「短期保険証」の発行を中止し、正規の保険証を発行すること。③生活困窮者による国保税滞納者への差し押さえは止めて、「申請による換金の猶予」を積極的に進めること。④国に対して、高すぎる保険税を引き下げするために国庫負担を大幅に増やすことを要請すること等を求め、11月19日に県の福祉部との懇談をおこないました。</p>

<p>(4)年金引き下げを許さない運動</p> <p>大分県年金者組合とともに「75歳以上の窓口負担を1割から2割負担」と「年金引き下げ」等、政府が行おうとしている社会保障費削減策を阻止する運動と「年金引き下げ訴訟」への傍聴支援や裁判を支援する運動に取り組みました。</p> <p>(5)「生きる権利」を守る生活保護制度の改善を許さない運動</p> <p>大分県生活と健康を守る会を中心に取り組まれた「生存権裁判を支援する大分の会」の運営に参加し、『いのちのとりで裁判全国アクション』の運動に取り組みました。</p> <p>(6)消費税率引き下げを求める運動</p> <p>「消費税をなくす大分の会」に参加し、消費税率をまず8%に引き下げ、5%まで引き下げる運動に取り組みました。</p> <p>(7)子ども医療費の高校生までの完全な無料化への運動</p> <p>大分県に対して、①医科・歯科の保険診療に関わる「外来」と「入院」の窓口一部負担金や「薬代」を当面は中学卒業まで助成し、最終的には高校卒業まで事業の対象を拡充すること。②国に対して、子ども医療費助成制度の設立を求め、また「国民健康保険の国庫負担金の減額調整措置」を全面廃止するよう求めることを要請し、福祉部との懇談をおこないました。この懇談の中で、県からは『子育て日本一』を掲げる大分県として、積極的に取り組みを進める」との回答を得ることができました。</p> <p>2021年10月から大分市と別府市で、非課税世帯の子どもの医療費が中学生（15歳到達後の3月31日）まで助成され、さらに2022年10月からは、中学生までの医療費を1回500円（月上限4回）、5回目以降は無料とする助成制度がスタートします。これにより県内すべての市町村において、中学生までの医療費助成が実現します。</p> <p>社会保障要求自治体キャラバンの実施</p> <p>今年度は新型コロナの影響により「社会保障要求自治体キャラバン」は実施できませんでした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>署名集約（取り組んだ署名を記入ください）</th> <th>集約数（筆数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種署名は、加盟団体ごとに集約され、それぞれ中央団体へ報告、提出されるため、大分県社保協として集約はされません。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2020年度内に結成した地域社保協</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結成した地域社保協はありません。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結成予定の地域社保協</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結成予定はありません。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）	各種署名は、加盟団体ごとに集約され、それぞれ中央団体へ報告、提出されるため、大分県社保協として集約はされません。		2020年度内に結成した地域社保協		結成した地域社保協はありません。		結成予定の地域社保協		結成予定はありません。	
署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）											
各種署名は、加盟団体ごとに集約され、それぞれ中央団体へ報告、提出されるため、大分県社保協として集約はされません。												
2020年度内に結成した地域社保協												
結成した地域社保協はありません。												
結成予定の地域社保協												
結成予定はありません。												

※締め切り 7月25日（金）とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（鹿児島県社保協） 記入者（日高 光雄）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事会は月1回を基本に、各団体の活動の交流と中央社保協の動きや議会等の情報共有等をすすめています。また、国保や介護保険制度の学習やインボイス制度の学習を行いました。 ・水俣病被害者支援やいのちのとりで裁判支援などに取り組みました。2022年3月19日には水俣病総決起集会が鹿児島県出水市で行われ、8名の代表を送りました。いのちのとりで裁判支援では、公正判決を求める署名や裁判傍聴に取り組みました。 ・75歳以上医療費窓口負担2倍化問題では、県議会に陳情を行いました。不採択となりました。 ・2022年参議院選挙では、各立憲野党に要望書を提出し、市民と野党の共闘と候補者1本化を要請しました。 ・2021年11月11日、全国の運動に呼応して電話相談会を実施しました。
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の幹事会で、時々の情勢に合わせてミニ学習を行っています。 ・2021年7月17日には、『社会保障における「自助・共助・公助」論の危うさ』と題して、芝田英昭先生（立教大学 コミュニティ福祉学部 教授）の講演会を行いました。
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年11月11日、介護・認知症なんでも電話相談を行いました。17件の相談に対応しました。内訳は、経済的な相談が3件、認知症の治療や対応に関わる相談が3件、退院先や入所先が見つからない4件、介護サービスに関わるものが5件、コロナによる面会制限に関わるものが2件など、共通した課題として、一人で抱え込み他の支援を受けられない（支援してもらえない）こと、どこに相談すればいいかわからないこと、そしてコロナの影響によりそれらがより深刻になっていることが浮き彫りとなりました。
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上医療費窓口負担2倍化問題では、県議会に陳情を行いました。
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年参議院選挙では、各立憲野党に要望書を提出し、市民と野党の共闘と候補者1本化を要請しました。

署名集約(取り組んだ署名を記入ください) 民医連集約分のみ	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	11577
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	7682
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	7056
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	10105
⑨ その他()	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守をお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 沖縄県社保協 ） 記入者（高崎大史）

この一年間の取り組みの特徴について
<p>5月29日 県社保協 2021年度定期総会&伊藤周平氏講演会 6月4日 豊見城市議会 子ども医療費無料化陳情 意見陳述・国保改善陳情 意見陳述 6月9日 北谷町議会 子ども医療費無料化陳情 意見陳述・国保改善陳情 意見陳述 6月11日 南風原町議会 子ども医療費無料化陳情 意見陳述・国保改善陳情 意見陳述 7月8日 県庁要請 国保改善 7月9日 県庁要請 子ども医療費無料化 7月30日 自治体キャラバン学習会&第1回全団体代表者会議 8月6日 キャラバン初日 東村キャラバン 11月17日 国保改善陳情・浦添市議会意見陳述 12月2日 宮古島市長懇談 12月5日 南城市長懇談 12月21日 国保改善県庁緊急要請 知念冲商連事務局長、島袋生健会事務局長、など4名参加 12月24日 「25の日行動」クリスマス宣伝 最後の子ども医療費署名 20名参加 42筆 1月23日 名護市長選挙投票日 2月18日 第4回全団体代表者会議 日下部雅喜氏講演会「介護保険」55名参加 3月23日 県庁子ども医療費レクチャー 3月29日 県庁介護保険レクチャー 3月30日 竹富町キャラバン(キャラバン2022最終) 4月15日 第5回代表者会議&介護保険学習会 澤田和男氏講演会「国保統一に向けて」 4月26日 県庁国保課レクチャー「国保統一」</p> <p>○自治体キャラバン懇談自治体数、オンラインで過去最高に ○子どもの医療費無料化 2022年4月1日から中学卒業まで現物給付で ○キャラバンで国保統一への対応、市町村の葛藤広がる</p>
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ
<p>5月29日 県社保協 2021年度定期総会&伊藤周平氏講演会 7月30日 自治体キャラバン学習会&第1回全団体代表者会議 8月25日 沖縄県民連職員社保学校第3講座 二宮元講演「新自由主義と社会保障」 8月28日—29日 中央社保学校 12月10日 全日本民医連人権としての社保運動交流集会 12月12日 中央社保協国保運動交流集会 2月18日 第4回全団体代表者会議 日下部雅喜氏講演会「介護保険」55名参加 4月15日 第5回代表者会議&介護保険学習会 澤田和男氏講演会「国保統一に向けて」</p> <p>「コロナ後の社会保障」「新自由主義」「国保」「介護保険」が主なテーマ</p>

署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
<p>○12月24日「25の日行動」クリスマス宣伝 最後の子ども医療費署名 20名参加42筆 ○介護保険改悪や後期高齢医療2割反対で老人クラブ連合会からの団体署名多数</p>	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<p>○コロナ禍もとの自治体キャラバン2022 31自治体に20団体から310名参加 異例の完全オンライン開催となったが、本島内全26自治体に加え、県庁+離島4自治体とも懇談、史上最高の31自治体訪問となった。懇談を固辞していた南城市と宮古島市とは市長要請懇談を行い、いずれも実施へ変更にできた。 子どもの医療費無料化の大きな前進(4月1日から全自治体中学卒業まで現物給付化)に加え、公営住宅保証人廃止、生理の貧困対策でも明確な前進となった。政府要請では要介護12の市町村事業への移行について「移行させるべきではない」という回答が圧倒的多数となり、たたかひの共通地盤となりそう。</p> <p>○コロナ対応と国保統一を前に国保改善に向けて、学習と要請を重ねる 国保改善については自治体キャラバン以外に、県庁要請を3回、6月議会へは前議会へ陳情も行った。10議会で意見書採択。 愛知社保協の澤田和男氏を招いての国保学習会は、改めて「国保統一問題」への課題を確認することができた。</p> <p>なお、2016年12月議会から2021年6月議会まで約6年間で、沖縄県社保協は、17本の陳情書を提出している。あらためて採択状況を調査中だが、採択数は235本(7月6日調査集計まだ途中)にのぼることが判明している。</p>	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他()	
⑩	
沖縄県社保協に署名集約機能はない	

2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	結
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（日本医労連） 記入者（五十嵐）

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>★21年秋より2年目がスタートした全労連・社保協・医団連の共同の新たな「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための国会請願署名」（以下、新「いのち署名」）は、日本医労連として組合員1人10筆、180万筆以上を目標として取り組みました。宣伝行動の取り組みでは、キャラバン行動期間中に全国でのべ132回行われ、緊急行動が呼びかけた毎週金曜宣伝に、日本医労連本部、全国組合本部、東京医労連の仲間が結集して取り組みました。</p> <p>★政府がすすめる医療・介護提供体制の「一体改革」にたいするたたかいをすすめ、21秋のキャラバンをはじめ、1年をとおして医療関係団体、自治体などの懇談・要請、街頭署名宣伝行動をすすめました。</p> <p>★中央社保協・全労連社保闘争本部会議に結集し、年金・生保・国保など、さまざまな社保課題での取り組みを加盟組織に発信し、地域社保協との共同も含め、運動を推進しました。</p>
<p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ</p> <p>★2022年7月2日「社会保障運動全国交流集会」Web（Zoom）を開催し、事前登録の際に報告のあった集団視聴を含め50名以上が参加しました。集会は、社会保障の充実、労働者・国民のいのちと暮らしを守るための緊急の要求となっており、国民的な運動の広がりが求められる中、加盟組織での社会保障闘争の取り組みを交流し、たたかいの前進をはかることを呼びかけました。</p>
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>★社保協が呼びかける「4の日行動」「25日行動」をはじめとして、全国各地で加盟組織が地域社保協との共同も含め、署名宣伝行動をおこないました。また、「#いのちまもる 医療・社会保障を立て直せ！10.14総行動」「第11回地域医療を守る運動全国交流集会」などにも積極的に取り組みました。</p>
<p>自治体要請（キャラバン）・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>★新「いのち署名」の自治体への請願・陳情は、2022年5月時点で、31県医労連が740の自治体議会を訪問し、そのうち13県医労連がすべての議会へ陳情・請願を行っています。2020年度からの通算で292の自治体議会場で意見書が採択されており、訪問した議会の約4割で採択されています。大半の議会から意見書が上がっている秋田、長野では、すべての自治体議会からの意見書採択をめざし運動を展開しています。</p>
<p>議員要請行動について（国会議員、地方議員等）</p> <p>★第1回統一署名行動（1月28日）には、オンライン含む300人以上が参加し、署名提出行動を行いました。当日集会には11人の国会議員と9人の秘書が駆けつけ、激励のち守る政策への転換に向けての決意が述べられました。</p> <p>全労連・国民春闘共闘が主催する「22春闘勝利！3・2中央総決起行動」に結集し、第2回統一署名提出行動が行われました。署名の要請・提出行動には約170人が参加し、8人の国会議員と4人の秘書も駆けつけました。新「いのち署名」の提出行動には、加盟組織代表者ら58人が参加し、紹介議員へ署名を渡して現場の実</p>

態を訴えました。

第3回統一署名提出行動（5月26日）で新「いのち署名」は、日本医労連として4月末時点で208,742筆集約し、紹介議員101人、賛同議員3人となっていますが、署名の取り組みについては、1人10筆目標に対し10%以下の組織は38組織あり、そのうち7組織から取り組み報告がありませんでした。国会決議をめざすためにも、あらためて署名の意義や目的についての学習と意思統一を深めていくことが必要です。

署名集約（取り組んだ署名を記入ください）	集約数（筆数）
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいち署名）	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他（ ）	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成年月日（ ） 名称（ ）	結
結成年月日（ ） 名称（ ）	
結成予定の地域社保協	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	
結成予定日（ ） 名称（ ）	

※締め切り 7月25日（金）とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守をお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 全国福祉保育労働組合 ） 記入者（ 民谷 孝則 ）

この一年間の取り組みの特徴について	
<p>厚生労働省交渉を中心とする中央行動を昨年5月、10月、今年3月と年3回おこなった。職員の増員を求める要請に「職員配置基準を引き上げると、人材を確保できず、運営に支障が出るため、慎重に検討する」との回答が数年続いている。昨年10月から国会請願署名「いのちを守り社会を支える福祉職員を増やして、賃金を引き上げてください」にとりくみ、66,954筆集めた。</p> <p>賃上げについては、運動と世論に押される形で2月から賃上げ施策が実施された。規模が小さく、算定の対象外になる事業・職員も出たが、手当を中心に近年にない賃上げにつながった。賃上げの必要性については社会的な認識になってきているが、賃上げ規模と対象の拡大、増員を求める運動を広げていくことが重要になっている。3月10日の春闘統一行動では第6波の厳しい影響を受けながらも、ワッペン就労やプラスターの掲示、Twitterでのアピールなどにとりくんだ。</p>	
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴	
<p>今年6月5日に第24回社会福祉研究交流集会在内部向けにオンラインで開催した。同志社大学の岡野八代教授に「ケアから未来の民主主義を展望する」と題して記念講演を受けた。ケア労働の賃金などの低さに、ジェンダーが深くかかわっていることが浮き彫りにされた。保育、障害福祉、訪問介護、児童養護の各分野から実践報告をうけ、分科会で記念講演と報告を深めた。</p>	
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴	
<p>福祉保育労としての独自の国会請願署名が中心となった。コロナ禍で組合活動にも一定の影響があり、署名を集めづらい状況は引き続き出ている。</p>	
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について	
<p>毎年独自におこなっている地方組織と地方労連のキャラバンに盛り込んでもらって参加している組織などがある。今年7月には数年ぶりに福島県に対して、賃上げ・増員などを求める要請をおこなった。</p>	
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)	
<p>国会請願の紹介議員受諾にむけた要請について、地元を中心におこない、自民党などを含む超党派の98人が紹介議員となった。埼玉選出の自民党・黄川田内閣府副大臣や青森選出の立憲・田名部参議院議員、愛知選出の立憲・中川正春・近藤昭一両衆議院議員などと懇談をすることができた。</p>	
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいち署名)	855
介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	786
「年金改善署名」	736
「憲法改悪反対署名」	982

2021年度（2021.5.1～2022.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域（ 全日本年金者組合 ） 記入者（ 木田 保男 ）

この一年間の取り組みの特徴について
<p>○第25回大会（2021年6月）で決定された最低保障年金制度「第3次提言」を8月にパンフレット作成し（11万部）、各地の年金学習会、年金署名活動に活用する。2021年年金署名は22年6月現在123,931筆集約。</p> <p>○2022年は全労連との共同で「年金・雇用署名2022」を2022年1月から開始。22年6月現在53,153筆集約。衆参国会議員へ請願署名紹介議員要請を2回実施し、衆参国会議員27名受諾。</p> <p>○2022年度の年金改定は、2021年暮からの急激な物価高にも拘らず、改定ルールにより0.4%削減と発表され、22年1月に抗議声明、自民党へ減額改定中止の申し入れ、野党には「年金引き下げ凍結法案」提出の要請を実施。</p> <p>○22年3月年金減額改定（6月支給分）が進められる中、「岸田首相への手紙」の取り組みを開始。集まった「岸田首相への手紙」を5月19日、6月9日の2回合計1220名分を政府へ提出し、それぞれ厚労省で記者会見を実施。</p> <p>○年金裁判は、最初の提訴から7年目を向かえ、高裁での不当判決が出され、最高裁へ上告、最高裁での闘いが開始された。</p> <p>○各地の都道府県本部・支部で高齢者の生活改善に向け、国への意見書「(加齢性)難聴者の補聴器購入公的助成を求める」の取り組みが、200(2022年5月現在)を超える市区町村で採択され、補聴器購入資金助成制度実施地方自治体が、79自治体へと広がりを見せている。(2022年5月現在)</p>
学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万カ所学習会集約は別紙報告書へ
<p>○2022年2月3日「年金と雇用署名2022」キックオフ集会開催(全労連主催)。</p> <p>○2022年3月24日、5月25日「年金0.4%引き下げ許さない決起集会」国会行動、学習会・署名提出行動・衆参国会議員紹介議員要請行動。(全労連・年金者組合共催)</p>
署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴
<p>○年金者組合では、年金支給日に「年金支給日署名宣伝・統一行動」を実施。</p>
自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について
議員要請行動について(国会議員、地方議員等)
<p>○22年3月衆参国会議員(衆参厚生労働委員、22年改選参院議員)へ請願署名紹介議員要請を全労連と年金者組合合同で実施。</p> <p>○22年4月衆参国会議員(衆参厚生労働委員、22年改選参院議員、衆議院総選挙野党統一候補)へ請願紹介議員要請を全労連と年金者組合合同で実施。</p>

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名(新しいのち署名)	123筆
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	244,281筆
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名(介護改善署名)	1,330筆
④ 「年金改善署名」	177,084筆
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他()	25,611筆
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()	結
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jpへ送信ください。

《中央社保協第66回全国総会議案／付属資料》

2021年度(2021.5.1～2022.4.30)の取り組み報告

組織名／団体・地域(全国保険医団体連合会) 記入者(曽根)

この一年間の取り組みの特徴について

1. 参議院選挙の取り組み

参院選選挙を医療・社会保障の在り方や憲法の今後を左右する重要な選挙であると位置づけ、会内挙げて取り組みを行った。宣伝の3つの柱として、①重点要求、政党アンケートの機関紙等での情報発信、②「待合室から患者さんへ、地域へ」の発信による世論形成(リーフレット、院内掲示用ポスター)。③WEB・SNSの活用や「選挙に行こう」ムービーコンテストなど「選挙へ行こう」キャンペーンを展開した。

参院選リーフでは、「75歳以上の医療費窓口2割化」法案、病床削減法、憲法9条への各党の立場を知らせ、参院選で社会保障充実の政治を実現しようと訴えた。

2回目の開催となるムービーコンテストには、77本の応募があり、若い世代からの応募が多かった。SNS対策では、Twitterデモを3回開催、LINEやFacebookなども活用し、現在の政府の社会保障政策を知らせ、改善のために選挙に行こうと訴えた。

2. 「75歳以上の医療費窓口2割化」中止の取り組み

①「請願署名」の取り組みおよびリーフレットの普及、②通常国会での国会行動、③政党、連合への働きかけなどを行ってきた。

①の「請願署名」については、会員医療機関への訴え、新点数検討会(説明会)での訴え、全国の協会・医会の街頭宣伝が全国で旺盛に取り組みられ、これまで集まった署名は約12万筆に達している。「新型コロナワクチン接種後の経過観察の時間帯を利用して」、「署名・リーフ・返信用封筒の『署名セット』を一言声掛けて配布」、署名を呼びかける「垂れ幕を受付に」、「受付に署名を置くだけで集まる」など待合室での様々な実践が積み重ねられた。また、クイズハガキの応募者や「知トクパンフ」の広報・普及の際にも協力を求め、多くの市民から署名が寄せられている。加えて会員だけではなく、地域の薬局や介護施設、生保会社など幅広く協力を求め、あらゆる機会を通じて署名を広げている。5月29日には、神奈川協会・ゼロの会主催の「オンラインイベント2022 コロナ禍でこそ!お金の心配なく医療にかかれる社会へ」が開催され、住江憲勇保団連会長が「高齢者医療費『2倍化』を止めよう」で特別報告を行った。

②国会行動は、会期中、毎月実施した。新型コロナ感染拡大下にも関わらず、与野党議員への要請を行ってきた。これらの取り組みを通じて、立憲・共産は衆院の予算組み替え動議の中で75歳窓口負担2割化の中止を盛り込んだ。また、共産党は、中止法案を提出。立憲・共産・社民は参院選公約に2割化中止を盛り込んだ。4月21日の『75歳以上の医療費窓口負担2割化』中止を!」アピール集会は、エムスリーでも報道され注目された。

③政党や連合への働きかけも旺盛に進められた。3月23日に連合の佐保昌一政策推進局長(中医協委員)と懇談を行った。佐保氏は、患者負担増による受診抑制の懸念、単身200万円に対する疑問を明らかにした。また、4月11日には、立憲民主党・会派の厚労部会に住江会長が招かれ、「2割化」を中心とする医療・社会保障の問題について保団連の考え方を紹介すると共に、75歳以上の医療費負担増を食い止めるために、(ア)「2割化中止法案」の提出、(イ)2008年度から2019年度まで、70～74歳の窓口負担2割の

うち1割相当分について支給していたように、予算措置（指定公費負担医療制度）による実質中止などを提案した。署名の紹介議員は衆参で88人となった。

3. 診療報酬改定の不合理是正

2022年度診療報酬改定でも社会保障費の自然増を抑制する路線が岸田政権でも続き、5回連続のネットマイナス改定であった。コロナ禍での診療報酬改定であったにも関わらず、新型コロナ前に決定されたよりも低い改定率であった改定に対し、4月17日、(ア)高いハードルが課せられた入院、外来の感染対策向上加算の算定要件、施設基準の緩和、点数引き上げ、(イ)PCR検査点数の引き上げ、(ウ)医療機関の負担増となるレセプト請求のコード化による問題を直ちに解消すること、(エ)当面の間は、旧点数の誤請求や、届出の不備があったとしても請求を認めることを求め、厚労省に緊急要請書を送った。

署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
① 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	123698筆

《中央社保協第66回全国総会議案／付属資料》

2021年度(2021.5.1～2022.4.30)の取り組み報告

組織名／団体・地域(全国商工団体連合会) 記入者(宇野)

<p>この一年間の取り組みの特徴について</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症対策 さまざまな制度の対象になるフリーランスを含めた中小業者を、誰一人取り残さない、という構えと決意であらゆる支援策の拡充と運用改善を国・自治体に求めてきた。厚生労働省に対しても要請・ヒアリング等を実施し、国保料・税のコロナ特例減免、傷病手当金、雇用調整助成金の拡充と運用改善などを求めてきた。</p> <p>2. 国保制度改善の運動 全国の民商で、コロナ特例減免の申請に取り組むと同時に、傷病手当金の事業主への適用、国保料・税の引き下げを求める運動を広げてきた。全商連に寄せられた国保・社保に関する相談に対して、地域の民商や他団体とも協力し解決に向けた相談活動に取り組んだ。</p> <p>3. マイナンバーの利用拡大とデジタル監視法反対の運動 課税と徴収の強化、社会保障給付の引き下げをねらうマイナンバー制度の利用拡大に反対するとともに、プライバシーを守り、国民監視社会を許さない運動に取り組んだ。</p> <p>学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ</p>		
<p>署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴</p> <p>全国各地で消費税率引き下げとインボイス制度導入の中止・延期を求める署名・宣伝行動に取り組み、「消費税は社会保障充実のため」という口実で消費税を正当化しようとする攻撃に反撃した。</p>		
<p>自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について</p> <p>いくつかの県連・民商で要請・請願行動が取り組まれ、事業主への傷病手当金(傷病見舞金)の支給、国保税の引き下げなどの成果を勝ち取る経験が生まれた。こうした行動を続ける中で、自治体との間で国保財政に対する国の財政支援を拡充させていく必要があるという点で一致するなど、前向きな変化も生み出している。</p>		
<p>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</p>		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>署名集約(取り組んだ署名を記入ください)</th> <th>集約数(筆数)</th> </tr> </thead> </table>	署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)
署名集約(取り組んだ署名を記入ください)	集約数(筆数)	

① 安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会 請願署名（新しいち署名）	
② 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を求める請願署名	
③ 介護保険制度の抜本改善を求める請願署名（介護改善署名）	
④ 「年金改善署名」	
⑤ 「生活保護改善関連署名」	
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「消費税関連署名（増税反対・5%減税）署名	
⑧ 「憲法改悪反対署名」	
⑨ その他（ ）	
⑩	
2020年度内に結成した地域社保協	
結成年月日() 名称()	
結成年月日() 名称()結	
成年月日() 名称()	
結成予定の地域社保協	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	
結成予定日() 名称()	

※締め切り 7月25日(金)とします。

※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。

※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。